



# 目次

マッピング .....	1
<b>マップの調査・検索機能 .....</b>	<b>1</b>
マップ ナビゲーション .....	1
クエリ .....	1
テーブル .....	2
グラフ .....	2
グラフの種類 .....	2
ArcGIS Onlineまたはネットワーク データセットを使用した .....	3
ルート検索 (StreetMap™ USA) .....	3
<b>マップの表示 .....</b>	<b>3</b>
一般機能 .....	3
テーブル データ .....	3
ベクタ データの表示 .....	4
ベクタ データの主題分類 .....	4
シンボル .....	4
標高サーフェスの表示 .....	5
ラスタ データの表示 .....	5
ストレッチ カラー ランプ .....	5
統計情報 .....	5
リサンプリング方法 .....	6
分類方法 .....	6
ラスタ カタログ フットプリント表示 .....	6
ラスタ ツール .....	6
アニメーション .....	6
<b>ページ レイアウトと印刷 .....</b>	<b>6</b>
整飾 .....	6
出力フォーマット .....	7
プリンタ ドライバによる印刷 .....	7
<b>マップの共有と公開 .....</b>	<b>7</b>
高速なダイナミック マップの作成 .....	7
マップ レイヤおよびデータの共有 .....	7
<b>マップ テキスト .....</b>	<b>8</b>
ラベル (動的に表されるテキスト) .....	8
アノテーション (データとして格納されたテキスト) .....	8
アノテーションの編集 .....	8
アノテーションとディメンション (寸法線) の管理 .....	9
<b>高度なラベル設定 .....</b>	<b>9</b>
高度なラベル配置ルール セット .....	9
<b>高度なカートグラフィ機能 .....</b>	<b>10</b>
編集ツール .....	10
ジオメトリック エフェクト : ポイント .....	10
ジオメトリック エフェクト : ライン .....	10
ジオメトリック エフェクト : ポリゴン .....	11
シンボルの対話的編集 .....	11

ジオプロセシング ツール : グラフィックスの競合 .....	12
ジオプロセシング ツール : マスク ツール .....	12
ジオプロセシング ツール : リプレゼンテーション管理 .....	12
ジオプロセシング ツール : カートグラフィックの調整 .....	12
<b>アドレス マッチング .....</b>	<b>12</b>
ジオコーディング .....	12
ArcGIS Online ロケータ .....	13
ジオプロセシング ツール .....	13
<b>データ サポートと互換性 .....</b>	<b>13</b>
<b>ラスタ データ サポート .....</b>	<b>13</b>
直接読み込み可能なラスタ データ .....	13
直接読み込み、出力可能なラスタ データ .....	15
ジオデータベースのラスタ管理 .....	15
<b>ドキュメント / データ サポート .....</b>	<b>16</b>
マップ および シンボル ファイル .....	16
直接読み込み可能なベクタとラスタ データ .....	16
直接編集可能なベクタ データ .....	16
直接読み込み可能な他のデータ .....	17
座標系 .....	17
<b>CAD サポート .....</b>	<b>17</b>
CAD ファイル サポート .....	17
直接読み込み可能なCAD データ .....	17
CAD データを含む編集操作 .....	17
座標系 .....	18
ジオプロセシング ツール : 変換ツール 参照 .....	18
<b>アプリケーション フレームワーク .....</b>	<b>18</b>
<b>アプリケーションのカスタマイズ .....</b>	<b>18</b>
アプリケーションのユーザ インタフェース、操作感 .....	18
カスタマイズ .....	18
<b>データ オートメーション .....</b>	<b>18</b>
<b>データ編集 .....</b>	<b>18</b>
一般的なデータ編集 .....	18
スナップ タイプ .....	19
トポロジ エlementにスナッピング .....	19
スナップ許容値の設定 .....	19
ジオメトリ構築オプション .....	19
ジオメトリ作成ツール .....	20
フィーチャの編集操作 .....	20
フィーチャの編集ツール .....	20
属性の編集 .....	21
マルチパート フィーチャ (ポイント、ライン、ポリゴン) .....	21
編集時のマップ ナビゲーション .....	21
ベクタ データの補正 .....	21
ジェネラライズ .....	21

座標ジオメトリ (COGO) .....	21
パーセル編集.....	22
<b>ラスタ編集とベクトル変換 .....</b>	<b>22</b>
ArcGISがサポートする全ラスタ フォーマットのベクトル変換 .....	22
ArcGISによる統合.....	22
ラスタ スナッピングの対象 .....	22
ラスタ スナッピング オプション.....	23
ベクタ変換トレース.....	23
自動ベクタ変換.....	23
ベクタ変換設定.....	23
ベクトル変換プレビュー.....	23
選択セルの設定.....	23
ラスタ クリーンナップの設定.....	23
ラスタ ペイント ツールバー.....	23
サポート ツール.....	24
<b>モバイル.....</b>	<b>24</b>
GPSサポート .....	24
タブレットPC .....	24
ArcGIS Mobile サポート.....	24
<b>マルチユーザ ジオデータベースの編集 .....</b>	<b>24</b>
一般編集.....	24
ジオプロセシング ツール : 管理.....	24
ジオプロセシング ツール : バージョン .....	25
ショート トランザクション編集 .....	25
<b>マルチユーザ ジオデータベースの履歴管理.....</b>	<b>25</b>
表示とクエリ.....	25
管理.....	25
<b>分散ジオデータベース.....</b>	<b>25</b>
レプリカの管理.....	25
ジオプロセシング ツール : 分散ジオデータベース .....	26
<b>ジオリファレンス (幾何補正) .....</b>	<b>26</b>
ツール .....	26
変換方法.....	26
空間参照情報の保存.....	26
<b>データ管理と整合性チェック.....</b>	<b>27</b>
<b>データ管理.....</b>	<b>27</b>
一般.....	27
GISデータの検索方法 .....	27
カバレッジ データの管理.....	27
ジオデータベース管理 .....	27
交換ファイルのインポート/エクスポート.....	27
<b>属性の整合性チェック.....</b>	<b>28</b>
ジオプロセシング ツール : サブタイプ .....	28
ジオプロセシング ツール : ドメイン.....	28
フィーチャ間のリレーションシップを作成、編集.....	28
ジオデータベース リレーションシップの振舞い .....	28

ジオプロセッシング ツール : リレーションシップ クラス .....	28
<b>トポロジ .....</b>	<b>28</b>
マップの表示 .....	28
編集 .....	29
トポロジ エラー修正用ツール .....	29
ジオデータベース トポロジの管理 .....	29
ジオデータベース トポロジ ルールの設定 .....	29
ジオプロセッシング ツール .....	30
<b>ネットワーク .....</b>	<b>31</b>
ユーティリティ ネットワーク解析 .....	31
データ管理 .....	31
ジオメトリック ネットワーク接続ルール .....	31
ジオメトリック ネットワーク編集 .....	31
<b>リニア リファレンス (ルート) .....</b>	<b>31</b>
表示 .....	31
編集 .....	31
ジオプロセッシング ツール .....	32
<b>メタデータ .....</b>	<b>32</b>
一般 .....	32
スタイル形式を使用したメタデータの管理 .....	32
ジオプロセッシング .....	32
<b>データ処理と解析 .....</b>	<b>33</b>
<b>カバレッジ ジオプロセッシング ツール .....</b>	<b>33</b>
アプリケーション フレームワーク .....	33
ArcInfoカバレッジの解析 .....	33
ArcInfoカバレッジの変換 .....	33
ArcInfoカバレッジの集約 .....	34
ArcInfoカバレッジのコンポジット フィーチャへの変換 .....	34
ArcInfoカバレッジのジェネラライズ .....	34
ArcInfoカバレッジのテーブルの管理 .....	34
ArcInfoカバレッジの投影変換 .....	35
ArcInfoカバレッジのトポロジ処理 .....	35
一般 .....	35
<b>ジオプロセッシング .....</b>	<b>35</b>
環境 .....	35
対応スクリプト環境 .....	35
一般データ管理 .....	36
データ比較 .....	36
テーブル管理 .....	36
編集 .....	36
フィールド管理 .....	37
フィーチャクラス管理 .....	37
フィーチャ管理 .....	37
ファイル ジオデータベース .....	38
ジェネラライズ .....	38
投影変換と座標変換 .....	38

ベクタ データの投影変換 .....	39
ラスタ管理 .....	39
ラスタ モザイク .....	40
ラスタ変換 .....	40
ラスタ投影変換と座標変換 .....	41
変換 .....	41
レイヤとテーブル ビュー .....	42
パッケージ .....	42
パーセル ファブリック .....	42
解析 .....	42
空間統計ツール - パターン分析 .....	43
空間統計ツール - クラスタ分析のマッピング .....	43
空間統計ツール - 地理的分布特性の算出 .....	43
空間統計ツール - 空間関係のモデリング .....	43
空間統計ツール - レンダリング .....	44
空間統計ツール - ユーティリティ .....	44
マルチディメンション ツール .....	44
ワークスペース管理 .....	44
データベース管理 .....	44
属性の結合 .....	45
データのインデックス .....	45
ArcGIS Server 管理 .....	45
<b>国内データ対応 .....</b>	<b>45</b>
<b>インポート可能データ .....</b>	<b>45</b>
<b>エクスポート可能データ .....</b>	<b>47</b>

# マッピング

## マップの調査・検索機能

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>マップ ナビゲーション</b>				
画面移動と拡大縮小	●	●	●	●
マップ上の XY 位置（緯度経度）を検索	●	●	●	●
表示範囲の変更：マップの分析範囲	●	●	●	●
表示範囲の変更：レイヤの範囲	●	●	●	●
表示範囲の変更：レイヤの表示縮尺	●	●	●	●
表示範囲の変更：縮尺指定	●	●	●	●
空間ブックマークの利用	●	●	●	●
ハイパーリンクへのアクセス	●	●	●	●
マップチップの表示	●	●	●	●
拡大鏡ウィンドウ	●	●	●	●
隠れている下位レイヤを局所的に参照（スワイプ）	●	●	●	●
複数マップで使用可能な位置情報の保存および管理（お気に入り）	●	●	●	●
空間ブックマークの作成、管理		●	●	●
マウス ホイールによる画面移動と拡大縮小		●	●	●
選択フィーチャに移動およびズーム		●	●	●
キーボード ショートカットで、ツールを画面移動/拡大縮小 ツールに切り替え		●	●	●
ドキュメント、URL、マクロへのハイパーリンク作成		●	●	●
概観図ウィンドウ		●	●	●
部分拡大用のビューア ウィンドウ		●	●	●
複数のビューア ウィンドウの表示		●	●	●
<b>クエリ</b>				
個別属性表示	●	●	●	●
距離と面積の計測	●	●	●	●
フィーチャの検索	●	●	●	●
ArcGIS Online World Gazetteer を使用した場所検索	●	●	●	●
住所検索 ※国内未対応	●	●	●	●
フィールド プロパティを使用してリレート データを表示	●	●	●	●
コンテンツ ウィンドウでの選択可能レイヤの表示と切り替え		●	●	●
空間検索		●	●	●
属性検索		●	●	●
対話的にフィーチャを選択/選択解除		●	●	●

\*

選択解除、選択セットの切り替え、すべて選択		●	●	●	
個別属性表示ダイアログボックスからレイヤ プロパティにアクセス		●	●	●	
<b>テーブル</b>					
属性テーブルのレコードに基づいて、マップ内のフィーチャを点滅、拡大縮小、画面移動、個別属性表示		●	●	●	
対話的に、選択レコード/フィーチャをハイライト表示		●	●	●	
ハイライト表示されたレコード/フィーチャにズーム、および、同レコード/フィーチャの選択解除		●	●	●	
対話的に、選択フィーチャからレコードを追加および削除		●	●	●	
外部アプリケーション内で貼り付けを実行するため、選択レコードをコピー		●	●	●	
フィールドの表示/非表示、フィールドの順序とサイズを変更		●	●	●	
セル、フィールド サイズ、フォント、色を変更することで、テーブルの見た目を変更		●	●	●	
フィールド プロパティを使用して属性の結合を表示		●	●	●	
フィールドの並べ替え		●	●	●	
[レイヤ プロパティ] ダイアログに属性の結合とリレートのプロパティを表示		●	●	●	
複数フィールドによるレコードの並べ替え		●	●	●	
複数のテーブルをタブでテーブル ウィンドウに表示		●	●	●	*
グラフとレポートの作成		●	●	●	
属性値の検索と置換		●	●	●	
レコードのアタッチメント マネージャを開く (レイヤのアタッチメントが有効なとき)		●	●	●	*
<b>グラフ</b>					
単一グラフ内に様々なデータセットからのデータをプロット		●	●	●	
2D / 3D グラフの作成		●	●	●	
単一グラフ内に複数のグラフをオーバーレイ		●	●	●	
マップ、テーブル、グラフ間の連動		●	●	●	
<b>グラフの種類</b>					
横棒、縦棒、折れ線、面		●	●	●	
ヒストグラム		●	●	●	
散布図		●	●	●	
散布図マトリックス		●	●	●	
箱ひげ図		●	●	●	
バブル グラフ		●	●	●	*
極座標グラフ		●	●	●	*
円		●	●	●	

ArcGIS Onlineまたはネットワーク データセットを使用したルート検索 (StreetMap™ USA)				
北米とヨーロッパのポイント間の道路ルート検索		●	●	●
ルートのストップを住所、既存のフィーチャ、マップ上から対話的に追加		●	●	●
ルートのバリアを住所、既存のフィーチャ、マップ上から対話的に追加		●	●	●
住所ロケータを使用して最近接住所にストップをスナップ		●	●	●
最速または最短ルートのためのルートのカスタマイズ		●	●	●
順序未設定のストップ間の最速ルートを検索するよう、ストップの順序を変更		●	●	●
ルート サービスの速度と規制属性の変更		●	●	●
移動計画のタイミングの指定 (スタート、ストップ、休憩など)		●	●	●
概観図、ターンごとの地図、周辺地図を使用した HTML ルート案内の生成		●	●	●

## マップの表示

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>一般機能</b>				
マップ ページ、データセットの描画	●	●	●	●
リアルタイム投影	●	●	●	●
PMF ファイルにおける地図表現の完全サポート	●	●	●	●
レイヤ毎の透過率の設定	●	●	●	●
レイヤの透過設定を凡例に反映	●	●	●	●
データの表示縮尺範囲を設定		●	●	●
縮尺の表示形式 (絶対比・相対比) のカスタマイズ		●	●	●
地図表示画面を任意の領域で切り出し		●	●	●
格子線の設定				
- 経緯線		●	●	●
- 方眼格子線		●	●	●
- インデックス格子線		●	●	●
概観図や参照図用に、他のデータの表示範囲を矩形で作成		●	●	●
レイヤ単位のマスクの設定		●	●	●
グラフィックスをフィーチャに変換		●	●	●
一度計算されたエリアに対する高速表示のベースマップ		●	●	●
レイヤの作成		●	●	●
データの追加メニューからベースマップと ArcGIS Online への接続		●	●	●
ベースマップと高速表示されたラスタ レイヤの連続ナビゲーションのためのクイック移動モード		●	●	●
<b>テーブル データ</b>				
異なるデータベース間のリアルタイムの属性結合		●	●	●

実行前に結合の整合性を結合ダイアログボックスで確認		●	●	●	*
多対1と1対多のリレーションシップを作成		●	●	●	
統計情報の作成		●	●	●	
データの集計		●	●	●	
フィールド表示設定を対話的に変更		●	●	●	
エイリアス名の使用		●	●	●	
通貨、方向、パーセントなどの形式の数値フィールドの表示		●	●	●	*
グラフとレポートの作成		●	●	●	
Esri レポート ウィザードを使用した詳細レポートの作成		●	●	●	
複数の属性フィールドで並べ替え		●	●	●	
リモートのデータベース テーブルへ接続し利用		●	●	●	
XY ポイント データをマップに表示		●	●	●	
フィーチャクラスに関するアタッチメント (添付ファイル) を表示		●	●	●	*
<b>ベクタ データの表示</b>					
データセット毎に選択色を割り当て		●	●	●	
マップチップの作成		●	●	●	
指定した縮尺でのみシンボルを表示		●	●	●	
対話的にフィーチャを非表示に設定		●	●	●	
SQL クエリにより表示するフィーチャを指定		●	●	●	
マップからアクセスできるデータ フィールドを指定		●	●	●	
<b>ベクタ データの主題分類</b>					
単一シンボル表示		●	●	●	
個別値シンボル表示		●	●	●	
既存スタイルによるシンボルの統一		●	●	●	
等級色、等級シンボル		●	●	●	
比例シンボル		●	●	●	
ドット密度表示		●	●	●	
パイ/バー チャートなどのチャート表示		●	●	●	
二変量/多変量データのレンダリング		●	●	●	
対話的なヒストグラムによるデータ分類		●	●	●	
<b>シンボル</b>					
対話的なシンボル作成		●	●	●	
高度な描画オプションで描画順序を設定		●	●	●	
19,500 以上の既存シンボルが利用可能		●	●	●	
説明タグによるシンボルの検索		●	●	●	
シンボル検索タグの追加または変更		●	●	●	
ハローや高度な背景シンボルの利用		●	●	●	

塗りつぶし、ライン、アウトライン、ポイントのシンボル定義		●	●	●
ユーザがインポートしたグラフィック塗りつぶしパターンをサポート		●	●	●
<b>標高サーフェスの表示</b>				
インデックス コンター付き TIN コンター		●	●	●
TINのフェイス、傾斜方向、標高、傾斜角		●	●	●
太陽の位置を指定した DEM の陰影起伏		●	●	●
陰影起伏と標高を使用した DEM の陰影起伏		●	●	●
インデックス コンター付きテレイン コンター		●	●	●
テレインのフェイス、傾斜方向、標高、傾斜角		●	●	●
DEM 標高		●	●	●
<b>ラスタ データの表示</b>				
RGB 値を対応するバンドに割り当てることにより、マルチバンド画像を表示		●	●	●
個々のバンド設定		●	●	●
画像の各個別値を不連続な色で表示		●	●	●
カラー マップを使用して画像値を表示		●	●	●
色の値を使用してマルチバンド ラスタ データを表示		●	●	●
表示統計情報を保存		●	●	●
表示するラスタ データのコントラストと明度を調整		●	●	●
リアルタイム オルソ幾何補正		●	●	●
リアルタイム パンシャープン補正		●	●	●
リアルタイム陰影起伏効果（標高データ用）		●	●	●
ラスタ カタログの各ラスタを時系列に表示		●	●	●
レンダラ、統計情報を他のレイヤからインポート		●	●	●
マップ ナビゲーション中に、マップチップで画像値を表示		●	●	●
マップのコンテンツ ウィンドウにラスタ解像度を表示		●	●	●
ラスタ 関数チェーンの適用と編集		●	●	● *
ラスタ レイヤの高速表示		●	●	● *
<b>ストレッチ カラー ランプ</b>				
標準偏差		●	●	●
ヒストグラム平坦化		●	●	●
最小 - 最大		●	●	●
カスタム		●	●	●
なし		●	●	●
<b>統計情報</b>				
ラスタ データセット全体の統計情報		●	●	●
表示範囲の統計情報		●	●	●
カスタム範囲の統計情報		●	●	●

<b>リサンプリング方法</b>					
最近隣内挿法		●	●	●	
共1次内挿法		●	●	●	
3次たみ込み内挿法		●	●	●	
最頻値		●	●	●	
<b>分類方法</b>					
手動		●	●	●	
等間隔		●	●	●	
指定間隔		●	●	●	
等量		●	●	●	
自然分類 (Jenks)		●	●	●	
幾何学的間隔		●	●	●	
標準偏差		●	●	●	
<b>ラスタ カタログ フットプリント表示</b>					
フットプリントのみ		●	●	●	
選択フットプリント		●	●	●	
<b>ラスタ ツール</b>					
ピクセル値を表形式で表示		●	●	●	
スワイプ レイヤ ツール		●	●	●	
<b>アニメーション</b>					
時系列、レイヤ間の変化、マップ ナビゲーションのアニメーションを作成		●	●	●	
テーブル (グラフ)、ベクタ、ラスタ カタログ、netCDF データでデータの変動を動画化		●	●	●	
連続イメージでアニメーションをエクスポート		●	●	●	*
連続イメージからビデオを作成		●	●	●	*
タイム スライダーで時系列データを表示		●	●	●	*

## ページ レイアウトと印刷

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>整飾</b>				
タイトル		●	●	●
テキスト		●	●	●
図郭線		●	●	●
凡例		●	●	●
方位記号		●	●	●
縮尺記号		●	●	●
縮尺テキスト		●	●	●
画像		●	●	●

OLE オブジェクト		●	●	●
表示範囲枠		●	●	●
経緯線		●	●	●
<b>出力フォーマット</b>				
EMF (Enhanced Metafile)		●	●	●
BMP (Windows Bitmap)		●	●	●
EPS (Encapsulated PostScript)		●	●	●
TIFF (Tagged Image File Format)		●	●	●
PDF (Portable Document Format)		●	●	●
JPEG (Joint Photographics Experts Group)		●	●	●
PNG (Portable Network Graphics)		●	●	●
GIF (Graphic Interchange Format)		●	●	●
SVG (Scalable Vector Graphics)		●	●	●
AI (Adobe Illustrator)		●	●	●
PostScript 色分解ファイル (ページ マーク付き)		●	●	●
<b>プリンタ ドライバによる印刷</b>				
Windows	●	●	●	●
PostScript		●	●	●
ArcPress HP RTL (RGB/CMYK/モノクロ)		●	●	●
ArcPress HP PCL (RGB/CMYK/モノクロ)		●	●	●
ArcPress Epson Universal		●	●	●
ArcPress HP Universal		●	●	●
より早い印刷のためにローカル マシンでプリント ジョブを処理		●	●	●

## マップの共有と公開

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>高速なダイナミック マップの作成</b>				
エラー、サポートされていないコンテンツ、パフォーマンスなどのマップ分析		●	●	●
マップのプレビューとレンダリング時間の見積り		●	●	●
最適化されたマップ サービス ドキュメント (MSD) の作成		●	●	●
ArcGIS ServerへMSDを公開 <sup>1</sup>		●	●	●
<b>マップ レイヤおよびデータの共有</b>				
レイヤまたはマップを1つのフォルダ内に集約		●	●	●
レイヤ パッケージ ファイルの作成		●	●	●

<sup>1</sup> ArcGIS Server が必要になります。

ArcGIS Online へレイヤ パッケージ ファイルのアップロード および共有		●	●	●	
レイヤ パッケージの抽出		●	●	●	
マップ パッケージ ファイルの作成		●	●	●	*
ArcGIS Online へのマップ パッケージ ファイルのアップロード と共有		●	●	●	*
マップ パッケージの抽出		●	●	●	*

## マップ テキスト

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>ラベル (動的に表されるテキスト)</b>				
ラベルを即時表示		●	●	●
ラベルの自動配置と重なり回避		●	●	●
レイヤ間のラベル配置優先順位の設定		●	●	●
ラベルとフィーチャの重要度を設定する配置ルール		●	●	●
多数の既存ラベル スタイル		●	●	●
属性フィールドを使ってラベルを回転		●	●	●
マップ レイヤ毎に複数の動的ラベルを設定		●	●	●
レイヤ内でラベルを表示するフィーチャ指定		●	●	●
動的ラベル用の高度なテキスト フォーマット タグ		●	●	●
<b>アノテーション (データとして格納されたテキスト)</b>				
対話的ラベル ツール (吹出し、ラベル、スプライン、 段落テキスト) の利用		●	●	●
ラベルからアノテーション データを作成		●	●	●
<b>アノテーションの編集</b>				
対話的にアノテーションを移動、回転、サイズ変更		●	●	●
水平、角度付きアノテーションを追加		●	●	●
引き出し線付きのアノテーションを追加		●	●	●
既存フィーチャの曲線や形状に沿って配置されるアノテーション を作成		●	●	●
マップ内のレイヤからアノテーション値を動的に抽出		●	●	●
アノテーションの初期作成時に配置できなかったアノテーション を、対話的に管理		●	●	●
アノテーション文字列を個々に編集		●	●	●
アノテーションの改行、改行解除		●	●	●
アノテーション文字列を反転		●	●	●
曲線やラインの方向を変更		●	●	●
単一または複数のアノテーション フィーチャのシンボルを 同時編集		●	●	●

アノテーションとディメンション（寸法線）の管理				
ジオデータベースまたはマップ ドキュメントにアノテーションを格納		●	●	●
アノテーションのサブクラスを作成		●	●	●
ポイント間の実距離を表示する配置ディメンションを作成			●	●
ポイント間の水平、垂直、角度付き距離を表示する線分ディメンションを作成			●	●
ジオデータベースのフィーチャリンク アノテーション フィーチャクラスの作成、編集			●	●

## 高度なラベル設定 <sup>2</sup>

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo	
<b>高度なラベル配置ルール セット</b>					
読み取り専用プロパティで高度なラベルの表示	●	●	●	●	*
道路沿いにラベル配置				●	
動的改行のカスタマイズ				●	
フォントの自動縮小				●	
略語のカスタマイズ				●	
ポリゴン境界のラベル配置				●	
ラベルの繰り返し（ライン沿い）				●	
ラベルの繰り返し（ポリゴン境界線沿い）				●	
文字間隔の設定				●	
単語間隔の設定				●	
フィーチャの範囲からはみ出るラベルの表示制御				●	
カーブしたポリゴンのラベル配置				●	
経緯線に沿ったラベル配置				●	
ユーザ定義によるポイント ラベル ゾーン				●	
背景ラベル				●	
土地区画用ラベル配置				●	
フィーチャ ウェイトの高度な設定				●	
ラベル オフセットの高度な設定				●	
ライン ラベル位置の高度な設定				●	
カーブ ラベル配置の高度な設定				●	
走行と傾斜角シンボル				●	
日本語テキストの自動垂直配置				●	

<sup>2</sup> 高度なラベル設定機能は、ArcGIS Desktop エクステンションである Maplex for ArcGIS により提供されます。Maplex for ArcGIS エクステンションは、ArcInfo ライセンスに無償でバンドルされています。ArcView および ArcEditor ライセンスをお持ちのお客様が本機能をご利用になりたい場合、別途、Maplex for ArcGIS エクステンションのご購入が必要となります。

ドーナツ ポリゴンでの吹き出し設定				●
ポリゴン領域（外部または内部）での配置設定				●
ラインのタイプ（道路、河川、等高線）によって最適なラベル配置を設定				●

## 高度なカートグラフィ機能

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo	
<b>編集ツール</b>					
様々な用途の地図で利用するため、ジオデータベース内に GIS フィーチャの複数表現を格納			●	●	
フィーチャのジオメトリとシンボルを動的に操作するルールを作成（リプレゼンテーション ルール）			●	●	
スタイル ファイルでリプレゼンテーションルールを共有			●	●	
元の GIS データを変更せずに単一フィーチャの形状およびシンボル表現を変更			●	●	
各フィーチャまたは属性情報に基づいて、フィーチャの表示/非表示、透過性を個別に定義			●	●	
レイヤのすべてのフィーチャをマスク処理せずに、個々のフィーチャまたはフィーチャの一部をマスク処理			●	●	
ラインまたはポリゴンに沿って、ポイント シンボルを動的に配置			●	●	
フィーチャの表現用ジオメトリを動的に変更（ジオメトリック エフェクト）			●	●	
<b>ジオメトリック エフェクト：ポイント</b>					
ポイントを中心としたバッファ ポリゴンを作成			●	●	
ポイントを起点としたラインを作成（半径、角度を指定）			●	●	
ポイントを中心とした正多角形ポリゴンを作成			●	●	
<b>ジオメトリック エフェクト：ライン</b>					
コントロール ポイントの追加			●	●	
矢印			●	●	
ラインからのバッファ ポリゴンを作成			●	●	
カーブの切り取り			●	●	
破線			●	●	
ラインの範囲を囲むポリゴンを作成			●	●	
ジグザグ			●	●	*
移動			●	●	*
オフセット カーブ			●	●	
カーブの反転			●	●	
回転			●	●	
拡大・縮小			●	●	
単純化			●	●	

滑らかなカーブ			●	●
先細りしたポリゴンを作成			●	●
波線			●	●
<b>ジオメトリック エフェクト : ポリゴン</b>				
コントロール ポイントの追加			●	●
ポリゴンからバッファ ポリゴンを作成			●	●
カーブの切り取り			●	●
破線			●	●
ドーナツ ポリゴンを作成			●	●
ポリゴンの範囲を囲むポリゴンを作成			●	●
移動			●	●
オフセット カーブ			●	●
回転			●	●
拡大・縮小			●	●
単純化			●	●
滑らかなカーブ			●	●
波線			●	●
<b>シンボルの対話的編集</b>				
マーカー エディタを使用して、ポイント シンボルの特性を編集			●	●
リプレゼンテーション全体または一部を編集			●	●
シンボル全体を移動			●	●
ライン シンボルを平行移動			●	●
ツール ダイアログで測定単位を指定			●	●
シンボルの頂点を追加、削除、移動			●	●
シンボルのジオメトリック エフェクトを修正： ライン幅、ハッチ サイズ			●	●
線形ジオメトリを平行移動			●	●
指定ポイントとその他のポイントを揃えるため、フィーチャをリサイズおよび移動（補正）			●	●
シンボル全体または一部を削除			●	●
バウンディング ボックスのサイズ変更によりフィーチャ シンボルをリサイズ			●	●
スケール率でフィーチャとジオメトリック エフェクトを同時にリサイズ			●	●
フィーチャ シンボルを対話的または相対角度で回転（回転）			●	●
シンボルを絶対角度で回転（オリент）			●	●
ベジェ曲線でシンボルの形状を変更			●	●
シンボル パターンの制御（コントロール ポイント）			●	●

画面に表示されているシンボル表現のまま形状を編集 (WYSIWYG)			●	●	
<b>ジオプロセッシング ツール : グラフィックスの競合</b>					
グラフィックスの競合を検出 (Detect Graphic Conflict)				●	
移動の反映 (Propagate Displacement)				●	*
建物の競合を解決 (Resolve Building Conflicts)				●	*
道路の競合を解決 (Resolve Road Conflicts)				●	*
<b>ジオプロセッシング ツール : マスク ツール</b>					
クルドサック マスク (Cul-De-Sac Masks)				●	
フィーチャ アウトライン マスク (Feature Outline Masks)				●	
インターセクト レイヤ マスク (Intersecting Layers Masks)				●	
<b>ジオプロセッシング・ツール : リプレゼンテーション管理</b>					
リプレゼンテーションの追加 (Add Representation)				●	
リプレゼンテーション ルールの計算 (Calculate Representation Rule)				●	
リプレゼンテーションの削除 (Drop Representation)				●	
オーバーライドの解除 (Remove Override)				●	
オーバーライドによりフィーチャを選択 (Select Feature By Override)				●	
レイヤのリプレゼンテーションを設定 (Set Layer Representation)				●	
オーバーライドの更新 (Update Override)				●	
<b>ジオプロセッシング ツール : カートグラフィックの調整</b>					
ストロークまたは塗りつぶしにマーカーシンボルの向きを揃えて配置 (Align Marker To Stroke Or Fill)				●	
ライン キャップの計算 (Calculate Line Caps)				●	
ポリゴンの主角度の計算 (Calculate Polygon Main Angle)				●	
オーバーパスの作成 (Create Overpass)				●	
アンダーパスの作成 (Create Underpass)				●	
マーカー シンボルの分散 (Disperse Markers)				●	
交点にリプレゼンテーション コントロールポイントを設定 (Set Representation Control Point at Intersect)				●	
角度でリプレゼンテーション コントロールポイントを設定 (Set Representation Control Point By Angle)				●	

## アドレス マッチング

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo	
<b>ジオコーディング</b>					
ロケータ管理と使用のためのジオコーディング ツールバー		●	●	●	
ArcGIS 10 ロケータでのシングル ライン入力		●	●	●	*
シングルまたはバッチ ジオコーディング処理		●	●	●	

バッチ ジオコーディング結果（一致率）のリアルタイム表示		●	●	●
バッチ ジオコーディング結果を再照合できるツール		●	●	●
サーバ ベースのジオコーディング処理に ArcGIS Server を使用		●	●	●
データ ソースが異なる複数のロケータの使用		●	●	●
道路名、交差点、場所名エイリアスを使用したジオコーディング		●	●	●
複数ロケータを一つのロケータに統合（コンポジットロケータ）				
参照データなしにジオコーディング ロケータを配布		●	●	●
住所インスペクタを使用し、マップ上でクリックした地点の住所を表示		●	●	●
ArcMap のカタログ ウィンドウからロケータをドラッグ		●	●	●
MGRS（Military Grid Reference System）ロケータをデータレスで組み込み		●	●	●
ジオコーディング結果からダイナミック フィーチャクラスを作成			●	●
<b>ArcGIS Online ロケータ</b>				
北米のロケータ サービス		●	●	●
ヨーロッパのロケータ サービス		●	●	●
世界位置の地名ロケータ サービス		●	●	●
<b>ジオプロセッシング ツール</b>				
住所ロケータの作成（Create Address Locator）		●	●	●
コンポジット住所ロケータの作成（Create Composite Address Locator）		●	●	●
住所のジオコーディング（Geocode Addresses）		●	●	●
リーバース ジオコード（Reverse Geocode）		●	●	●
住所ロケータの再構築（Rebuild Address Locator）		●	●	●
住所の再照合（Rematch Addresses）		●	●	●
住所の標準化（Standardize Addresses）		●	●	●

\*

\*

\*

## データ サポートと互換性

### ラスタ データ サポート

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>直接読み込み可能なラスタ データ</b>				
ADRG（ARC Digitized Raster Graphics）		●	●	●
Esri BIL（Band Interleaved by Line）、 Esri BIP（Band Interleaved by Pixel）、 Esri BSQ（Band Sequential）		●	●	●
BAG（Bathymetric Attributed Grid）		●	●	●

\*

BT (Binary Terrain)		●	●	●	*
DIB (Device Independent Bitmap)、 BMP (Microsoft Windows Bitmap)		●	●	●	
BSB Nautical Charts		●	●	●	
CADRG (Compressed ARC Digitized Raster Graphics)		●	●	●	
CIB (Controlled Image Base)		●	●	●	
DIGEST (Digital Geographic Information Exchange Standard)、 ASRP (ARC Standard Raster Product)、 USRP (UTM (Universal TransverseMercator) /UPS (Universal Polar Stereographic) Standard Raster Product)		●	●	●	
DIMAP (Digital Image Map)		●	●	●	*
DTED (Digital Terrain Elevation Data) Levels 0、1、2		●	●	●	
FST (EOSAT FAST)		●	●	●	*
ENVI		●	●	●	
ECW		●	●	●	
ERDAS 7.5 GIS、7.5 LAN、RAW		●	●	●	
FLT (Floating Point Raster)		●	●	●	
GDAL (Geospatial Data Abstraction Library) VRT (Virtual Format)		●	●	●	*
GRIB (Gridded Binary Format)		●	●	●	*
GSAG、GSBG、GS7GB (Golden Software Format)		●	●	●	*
HDF (Hierarchical Data Format)		●	●	●	
RST (IDRISI Raster Format)		●	●	●	
Intergraph ラスタ ファイル： CIT™ バイナリ データ COT™ グレースケール データ		●	●	●	
ISIS (Integrated Software for Imagers and Spectrometers)		●	●	●	
1.1 GUD, 1.5 GUD —Japanese Aerospace Exploration Agency (JAXA)		●	●	●	*
BLX/XLB (Magellan MapSend)		●	●	●	
MrSID Generations 2/3 (Multiresolution Seamless Image Database)		●	●	●	
NITF (National Imagery Transmission Format)		●	●	●	
NLAPS (National Land Archive Production System)		●	●	●	
Oracle Spatial GeoRaster		●	●	●	
PIX (PCI Geomatics PCIDSK) <sup>3</sup>		●	●	●	
IMG/LBL Planetary Data System (PDS) —National Aeronautics and Space Administration (NASA)		●	●	●	
PNG (Portable Network Graphics)		●	●	●	

<sup>3</sup> これらのフォーマットは ArcObjects API のプログラミングで出力可能です。

MAP (PCRaster) <sup>3</sup>		●	●	●	
RADARSAT-2		●	●	●	*
Raster Product Format		●	●	●	
GFF (Sandia Synthetic Aperture)		●	●	●	
SRTM (Shuttle Radar Topography Mission)		●	●	●	*
SDTS (Spatial Data Transfer Standard)		●	●	●	*
TER/TERRAIN (Terragen Terrain)		●	●	●	*
TerraSAR-X		●	●	●	*
DEM (USGS (United States Geological Survey) ASCII Digital Elevation Model)) <sup>3</sup>		●	●	●	
XPM (XPixMap) <sup>3</sup>		●	●	●	
<b>直接読み込み、出力可能なラスタ データ</b>					
ERDAS IMAGINE		●	●	●	
Esri GRID、GRID Stack		●	●	●	
Geodatabase Raster		● <sup>4</sup>	●	●	
GIF (Graphic Interchange Format)		●	●	●	
JFIF (Joint File Interchange Format)		●	●	●	
JPEG (Joint Photographics Experts Group)		●	●	●	
JP2 (JPEG 2000)		●	●	●	
PNG (Portable Network Graphics)		●	●	●	
TIFF (Tagged Image File Format) (GeoTIFF タグに対応)		●	●	●	
Oracle Spatial GeoRaster			●	●	
<b>ジオデータベースのラスタ管理</b>					
すべての対応シングル バンド ラスタ フォーマットのラスタ属性テーブルを作成および編集		● <sup>4</sup>	●	●	
パーソナル / ファイル ジオデータベースでラスタを作成および管理		●	●	●	
ジオデータベース ラスタを LZ77、JPEG、JPEG2000 形式で圧縮		● <sup>4</sup>	●	●	
マルチユーザ ジオデータベースでラスタデータを作成および管理			●	●	
モザイク データセットの作成			●	●	*

<sup>4</sup> ArcView ライセンスでは、パーソナル/ファイル ジオデータベース内のみ、ジオデータベース ラスタまたはラスタ属性テーブルを作成可能です。ArcEditor および ArcInfo ライセンスでは、パーソナル/ファイル/マルチユーザ ジオデータベース内で、ラスタを作成、および管理できます。

## ドキュメント / データ サポート

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>マップ および シンボル ファイル</b>				
ArcGIS Publisher エクステンションで作成された.pmf ファイルの読み込み	●	●	●	●
マップ ドキュメント (.mxd) の作成、編集		●	●	●
ArcGIS バージョン 8.3, 9.0, 9.1, 9.2, 9.3 でレイヤ ファイル (.lyr) およびマップ ドキュメント (.mxd) を保存		●	●	●
標準マップにマップ テンプレート (.mxt) を利用		●	●	●
ArcView 3.x の APR と AVL ファイルのインポート		●	●	●
<b>直接読み込み可能なベクタとラスタ データ</b>				
パーソナル ジオデータベース		●	●	●
ファイル ジオデータベース		●	●	●
Personal、Workgroup、Enterprise ジオデータベース		●	●	●
シェープファイル		●	●	●
ArcInfo カバレッジ		●	●	●
PC ARC/INFO カバレッジ		●	●	●
SDC (Smart Data Compression) データ		●	●	●
VPF (Vector Product Format) データ		●	●	●
ArcGIS Server サービス		●	●	●
ArcIMS サービス		●	●	●
ArcGIS Server フィーチャ サービス		●	●	●
OGC (Open Geospatial Consortium, Inc.) WCS (Web Coverage Service)		●	●	●
OGC (Open Geospatial Consortium, Inc.)、 WMS (Web Map Service)		●	●	●
OGC GML シンプル フィーチャ アクセス <sup>5</sup>		●	●	●
OGC GML シンプル フィーチャ のインポート/エクスポート <sup>5</sup>		●	●	●
シンプル フィーチャ ベース サービスの OGC GML Web フ ィーチャ アクセス <sup>5</sup>		●	●	●
netCDF (Network Common Data Form)		●	●	●
<b>直接編集可能なベクタ データ</b>				
パーソナル ジオデータベース シンプルフィーチャ (.mdb)		●	●	●
ファイル ジオデータベース		●	●	●
シェープファイル		●	●	●
ArcSDE ジオデータベース (Personal、Workgroup、Enterprise)			●	●
ArcGIS Server フィーチャ サービス			●	●

\*

<sup>5</sup> これらの機能を利用するには、ArcGIS Data Interoperability エクステンションのインストールが必要です。ここで記載されている機能に限り同エクステンションのライセンスは必要ありません。

直接読み込み可能な他のデータ				
ジオデータベース テレイン		●	●	●
Microsoft Excel ワークシート		●	●	●
Esri TIN		●	●	●
DBF (dBASE)		●	●	●
TXT (テキスト)		●	●	●
Esri INFO ファイル		●	●	●
OLE DB コネクション		●	●	●
DBMS と SQL で定義されたクエリ レイヤ		●	●	●
ODBC コネクション		●	●	●
Microsoft Access		●	●	●
座標系				
定義済み地理座標系 (640 種類以上)		●	●	●
定義済み投影座標系 (3,800 種類以上)		●	●	●
定義済み鉛直座標系 (125 種類以上)		●	●	●
カスタム座標系の作成および使用		●	●	●

\*

## CAD サポート

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
CAD ファイル サポート				
DXF (Autodesk Drawing Exchange Format)		●	●	●
DWG (AutoCAD Drawing ファイル)		●	●	●
DGN (MicroStation design ファイル)		●	●	●
MSD (Mapping Specification for DWG) のインポート		●	●	●
MSD (Mapping Specification for DWG) のエクスポート		●	●	●
直接読み込み可能なCAD データ				
CAD ファイルの表示プロパティに基づいた CAD フィーチャとアノテーションの表示		●	●	●
CAD アノテーション フィーチャとして、ブロック属性およびタグを表示		●	●	●
ジオメトリ タイプや定義検索でCAD ドローイング全体または個々のCAD フィーチャを表示		●	●	●
標準 ArcGIS 表示ツールでCAD シンボルをオーバーライド		●	●	●
CAD レイヤの表示/非表示を制御		●	●	●
CAD フィーチャ属性テーブルから CAD エンティティ プロパティおよび属性にアクセス		●	●	●
表示、クエリ、解析、ジオプロセシングにCAD データを直接使用		●	●	●
CAD データを含む編集操作				
CAD フィーチャをその他の GIS フィーチャクラスに直接コピーおよび貼り付け		●	●	●

編集中に CAD データにスナッピング		●	●	●
CAD フィーチャを GIS フィーチャクラスに直接保存		●	●	●
<b>座標系</b>				
座標系定義を選択および保存		●	●	●
CAD データをその他の GIS データに揃え幾何補正後、 地理情報を保存		●	●	●
<b>ジオプロセッシング ツール : 変換ツール 参照</b>				

## アプリケーション フレームワーク

### アプリケーションのカスタマイズ

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>アプリケーションのユーザ インタフェース、操作感</b>				
ドッキング/フローティング ツールバー		●	●	●
ドッキング ウィンドウと自動非表示ウィンドウ		●	●	● *
多言語属性情報の UNICODE サポート		●	●	●
Microsoft Windows の表示設定に準拠		●	●	●
Windows に ArcGIS で利用可能なファイルの種類として レイヤ ファイル (.lyr) を登録		●	●	●
<b>カスタマイズ</b>				
カスタマイズ可能なユーザ インタフェース (ツール/ツールバーをドラッグ&ドロップにより再配置)		●	●	●
ジオプロセッシング ツールをメニューに追加		●	●	● *
プログラミングなしで、新規ツールバー/メニューを作成		●	●	●
COM 準拠の開発環境でアプリケーションを拡充		●	●	●
Microsoft Visual Studio アドイン、テンプレート、コード サンプルを使用し、.NET で ArcGIS の新規コンポーネントを構築		●	●	●

## データ オートメーション

### データ編集

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>一般的なデータ編集</b>				
複数レイヤの同時編集		●	●	●
レイヤごとに編集タスクを事前に定義するフィーチャ テンプレートの使用		●	●	● *
無制限の元に戻す/やり直し操作		●	●	●

屋外編集に対応する ArcPad との共存		●	●	●	
Wintab 準拠のドライバを搭載したデジタイザに対応		●	●	●	
任意の単位による計測		●	●	●	
必要に応じて、個々の頂点を移動する際に、フィーチャのサイズを調節		●	●	●	
測量値を GIS に適した値に自動修正		●	●	●	
複数のスナップ環境の利用		●	●	●	*
編集作業中のスナップ設定変更を可能にするドッカル スナップ ツールバー		●	●	●	
スナップ エージェントを使用したスナップ チップの フィードバック		●	●	●	*
マルチパッチ (3D) フィーチャのシンプル編集		●	●	●	
<b>スナップ タイプ</b>					
線分 (エッジ)		●	●	●	
端点		●	●	●	
交点		●	●	●	*
中点		●	●	●	*
ポイント		●	●	●	*
正接		●	●	●	*
頂点		●	●	●	
<b>トポロジ エlementにスナッピング</b>					
トポロジ ノード		●	●	●	
<b>スナップ許容値の設定</b>					
ピクセル		●	●	●	
マップ単位		●	●	●	
対話的		●	●	●	
<b>ジオメトリ構築オプション</b>					
作成する線分の方向を固定		●	●	●	
参照線分から次に作成する線分の相対角度を固定		●	●	●	
作成する線分の長さを固定		●	●	●	
絶対 X、Y の位置を指定		●	●	●	
最後の頂点から相対 X、Y で位置を指定		●	●	●	
作成する線分を最後の線分に平行に固定		●	●	●	
作成する線分を最後の線分に垂直に固定		●	●	●	
作成する線分をマップ上の既存の線分からの角度に固定		●	●	●	
マップ上の既存のフィーチャからジオメトリを作成		●	●	●	
最後の線分に正接円弧を作成		●	●	●	
最初と最後の線分に垂直な線分を作成し、ポリゴンを閉じる		●	●	●	
ジオメトリの方向を反転		●	●	●	

指定の長さにジオメトリを切り詰め		●	●	●	
<b>ジオメトリ作成ツール</b>					
スクリーン上をクリックしてデジタイズ		●	●	●	
ストリーム デジタイジング		●	●	●	
フリーハンド ベジェ スプラインの作成		●	●	●	*
ある地点からの角度と別の地点からの距離に基づき座標を追加		●	●	●	
2つの線分の延長線上で交わる点に座標を追加		●	●	●	
度（度、分、秒）単位での座標の指定		●	●	●	
ベジェ曲線の構築		●	●	●	*
トゥルー カーブの作成		●	●	●	
正接円弧の作成		●	●	●	
長方形と円の作成		●	●	●	
2点からの距離に基づいて座標を追加		●	●	●	
2点の midpoint に座標を追加		●	●	●	
既存座標点に沿って座標を追加		●	●	●	
2つの線分に正接する円弧を作成（フィレット）		●	●	●	
<b>フィーチャの編集操作</b>					
新規ジオメトリを使用してフィーチャを作成		●	●	●	
既存のフィーチャのジオメトリを使用して、新規ポリゴンを作成（自動完成ポリゴン）		●	●	●	
既存フィーチャの形状変更		●	●	●	
ポリゴン フィーチャの切断		●	●	●	
既存フィーチャを線対称にコピー		●	●	●	
既存フィーチャの延長、切り詰め		●	●	●	
交点で既存のラインを分割		●	●	●	
既存フィーチャの頂点の座標値を追加、削除、移動、変更		●	●	●	
<b>フィーチャの編集ツール</b>					
移動、回転、削除、コピー、貼り付け		●	●	●	
距離または比率でラインを分割		●	●	●	
距離、分割する数、またはメジャー値（M 座標値）に基づいて線分を分断		●	●	●	
バッファ作成		●	●	●	
既存の位置と平行にラインをコピー		●	●	●	
既存フィーチャのマージ		●	●	●	
同じレイヤ内のフィーチャまたは異なるレイヤ間のフィーチャを統合して、新規フィーチャを作成（ユニオン）		●	●	●	
既存フィーチャのバッファから、新規フィーチャを作成		●	●	●	
交差した既存フィーチャクラスから新規ポリゴンを作成		●	●	●	
別のポリゴンを使って、1つまたは複数のポリゴンをクリップ		●	●	●	

マップ内の他のフィーチャでラインを延長、切り詰め		●	●	●
<b>属性の編集</b>				
選択した行を個別、または、まとめて編集 (属性ダイアログ)		●	●	●
属性を複数行に同時コピー		●	●	●
スクリプトを使用して属性値を計算 (フィールド演算)		●	●	●
フィーチャのジオメトリ プロパティから属性値を計算 (ジオメトリ演算)		●	●	●
有効値を定義するルールにより、属性値の整合性をチェック (ドメイン)		●	●	●
新規フィーチャ作成時に属性を入力		●	●	●
属性またはテーブル ウィンドウでの属性の編集		●	●	●
<b>マルチパート フィーチャ (ポイント、ライン、ポリゴン)</b>				
パートの追加と削除		●	●	●
パートへ拡大		●	●	●
頂点の位置を追加、削除、変更		●	●	●
各パートを個々のフィーチャに分解 (エクスプロード)		●	●	●
<b>編集中のマップ ナビゲーション</b>				
フィーチャの頂点に拡大		●	●	●
フィーチャの一部に拡大		●	●	●
未配置アノテーションや未配置アノテーションと関連するフィーチャへ画面移動、拡大		●	●	●
連続ズーム/画面移動		●	●	●
<b>ベクタ データの補正</b>				
ラバーシート		●	●	●
アフィン変換		●	●	●
相似変換		●	●	●
射影変換		●	●	●
エッジ マッチ		●	●	●
フィーチャの属性情報を別フィーチャに移行		●	●	●
ある場所/レイヤから、新しい場所/レイヤにフィーチャのジオメトリをコピー		●	●	●
<b>ジェネラライズ</b>				
ライン フィーチャをスムージング		●	●	●
ライン フィーチャの形状を単純化		●	●	●
<b>座標ジオメトリ (COGO)</b>				
対話的なツール、または、オフセットとスケールを設定することにより、フィールドの測定値を GIS (グラウンド → グリッド) に自動修正			●	●
COGO 測定値を格納するフィールドを作成			●	●

\*

トラバースに沿うコースを指定することにより、新規フィーチャを追加			●	●	
2つの線分に正接する円弧を作成			●	●	
ストリップの説明から新規ラインを作成 (オフセット ライン)			●	●	
道路中心線から、対称/非対称のクルドサック (袋小路) を作成			●	●	
ラインの比例分割 (プロポーション)			●	●	
複数の直線を、単一の2点を持つラインに更新済み COGO 属性も含めて統合			●	●	
フィーチャのジオメトリ情報から COGO 測定値を抽出 (インバース)			●	●	
既存フィーチャの COGO 特性を調査 (COGO レポート)			●	●	
2つの測定値からカーブ情報に関するすべての不足測定値を計算			●	●	
測定されたポリゴン面積と法定ポリゴン面積を比較 (COGO 面積)			●	●	
既存のラインを COGO ラインに分割			●	●	
<b>パーセル編集</b>					
パーセル ファブリック フィーチャの作成			●	●	*
パーセル ファブリック フィーチャの最小二乗法の実行			●	●	*
関連レイヤの調節			●	●	*

## ラスタ編集とベクトル変換<sup>6</sup>

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>ArcGIS がサポートする全ラスタ フォーマットのベクトル変換</b>				
1ビットのラスタ データ			●	●
8ビットのラスタ データ (2値分類が適応済みのデータ)			●	●
<b>ArcGISによる統合</b>				
編集可能なベクタ データセットへベクトル変換			●	●
ベクタ データ編集環境との統合			●	●
<b>ラスタ スナッピングの対象</b>				
中心線			●	●
コーナー			●	●
交点			●	●
端点			●	●
ソリッド			●	●

<sup>6</sup> ラスタ編集とベクトル変換機能は、ArcGIS Desktop エクステンションである ArcScan for ArcGIS により提供されます。ArcScan for ArcGIS エクステンションは、ArcEditor および ArcInfo ライセンスに無償バンドルされています。ArcView ライセンスのみをお持ちのお客様が本機能をご利用になりたい場合、別途、ArcScan for ArcGIS エクステンションのご購入が必要となります。

<b>ラスタ スナッピング オプション</b>				
すべてのスケッチ ツールに適用			●	●
ラスタ リニア フィーチャ スナッピングの 最大幅 (許容値) を設定			●	●
ラスタ ソリッドの固定直径を設定			●	●
スナッピング中はデータのホールを無視			●	●
<b>ベクタ変換トレース</b>				
ラスタ ラインを対話的にトレース			●	●
ラスタ リニア フィーチャのホールを無視			●	●
<b>自動ベクタ変換</b>				
ラスタ データ全体をベクトル変換			●	●
特定のラスタ エリアをベクトル変換			●	●
ライン、ポリゴン ベクタ データの同時作成			●	●
<b>ベクタ変換設定</b>				
最大ライン幅			●	●
頂点間隔許容値			●	●
スムージング ウェイト			●	●
ギャップ許容値			●	●
交差部分の処理方法			●	●
ベクタ変換スタイルの保存、読み込み			●	●
<b>ベクトル変換プレビュー</b>				
ベクトル変換実行前に、プレビューを表示			●	●
プレビューのシンボルを変更			●	●
<b>選択セルの設定</b>				
セルの背景、前景色の選択			●	●
接続セルを対話的に選択			●	●
合計面積で接続セルを選択			●	●
エンベロープの対角線で接続セルを選択			●	●
<b>ラスタ クリーナップの設定</b>				
ラスタ クリーナップを元に戻す/やり直す			●	●
選択セルの消去/塗りつぶし			●	●
選択セルを新規ラスタ データとして保存			●	●
<b>ラスタ ペイント ツールバー</b>				
ブラシ			●	●
消しゴム			●	●
図形の描画 (ライン、四角形、楕円、ポリゴン)			●	●
接続セルの消去			●	●

サポート ツール				
ラスタ ライン幅を検索			●	●
ラスタ ソリッドの直径を検索			●	●
<b>モバイル</b>	<b>ArcReader</b>	<b>ArcView</b>	<b>ArcEditor</b>	<b>ArcInfo</b>
<b>GPSサポート</b>				
GPS 受信機から取得したリアル タイム ロケーションを ポイントで表示		●	●	●
自動画面移動設定		●	●	●
GPS のロケーションをログ ファイルに保存		●	●	●
時間、距離、進路の逸れ方により GPS 入力データをフィルタ		●	●	●
<b>タブレットPC</b>				
ArcMap にインク マークアップをエクスポート		●	●	●
Windows XP Tablet PC をサポート				
デジタル ペンを使ってフィーチャ、グラフィックスを編集		●	●	●
共通するマッピング タスクを実行するインク ジェスチャを 使用		●	●	●
蛍光ペン ツール等を使って、マップに書き込み		●	●	●
マップ内にある手書きのメモを検索		●	●	●
手書きのメモをテキストに変換		●	●	●
<b>ArcGIS Mobile サポート</b>				
モバイル マップの作成		●	●	●
モバイル キャッシュの同期		●	●	●

## マルチユーザ ジオデータベースの編集

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>一般編集</b>				
マルチユーザ ジオデータベースの同じフィーチャクラスを複 数人で同時編集			●	●
編集プロジェクトを異なるバージョンに分け、作業を効率化(バ ージョンの作成)			●	●
バージョンの統合 (リコンサイルとポスト)			●	●
列/行により編集の競合を管理			●	●
対話的/自動的に編集の競合を管理			●	●
バージョンの削除			●	●
ArcGIS または ArcGIS 以外のアプリケーションでバージョン対 応の GIS データを同時に表示および編集			●	●
<b>ジオプロセッシング ツール : 管理</b>				
マルチユーザ ジオデータベース内のデータ権限を変更			●	●
データ格納タイプの移行			●	●

\*

ジオデータベースに SDE データを登録			●	●	*
バージョン対応テーブルのクリーンアップ (圧縮)			●	●	
バージョン環境からテーブルとフィーチャクラスを追加、削除 (バージョン対応データとして登録/解除)			●	●	
<b>ジオプロセッシング ツール : バージョン</b>					
バージョン プロパティの変更 (Alter Version)			●	●	
接続バージョンの変更 (Change Version)			●	●	*
バージョンの作成 (Create Version)			●	●	
バージョンの削除 (Delete Version)			●	●	
バージョンのポスト (Post Version)			●	●	
バージョンのリコンサイル (Reconcile Version)			●	●	
バージョン対応レイヤとして登録 (Register as Versioned)			●	●	
バージョン対応レイヤの解除 (Unregister as Versioned)			●	●	
<b>ショート トランザクション編集</b>					
バージョン非対応のシンプル フィーチャを編集			●	●	
単一データベース トランザクション内にフィーチャを作成し、属性を入力			●	●	

## マルチユーザ ジオデータベースの履歴管理

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>表示とクエリ</b>				
特定の時点のジオデータベースを閲覧		●	●	●
アーカイブ データを直接検索		●	●	●
<b>管理</b>				
テーブルまたはフィーチャクラスの履歴管理を有効化および無効化			●	●
ある時点で保存されたジオデータベースのビューを作成			●	●

## 分散ジオデータベース

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>レプリカの管理</b>				
フィルタ機能でベクタおよびラスタ データのレプリカを作成			●	●
チェックアウト/チェックイン、一方向、双方向レプリカを作成、管理			●	●
接続レプリカを同期			●	●
XML、ZIP、Z、ジオデータベース デルタファイルを持つ非接続レプリカ間の編集を交換			●	●
レプリカ間のスキーマを比較			●	●
レプリカ間のスキーマ変更を交換			●	●
レプリカの矩形範囲を含むフィーチャクラスを生成			●	●

ジオプロセッシング ツール : 分散ジオデータベース				
グローバル ID の追加 (Add Global IDs)			●	●
レプリカ スキーマの比較 (Compare Replica Schema)			●	●
レプリカの作成 (Create Replica)			●	●
サーバからレプリカを作成 (Create Replica From Server)			●	●
レプリカ フットプリントの作成 (Create Replica Footprints)			●	●
承認メッセージのエクスポート (Export Acknowledgement Message)			●	●
データ変更メッセージのエクスポート (Export Data Change Message)			●	●
レプリカ スキーマのエクスポート (Export Replica Schema)			●	●
メッセージのインポート (Import Message)			●	●
レプリカ スキーマのインポート (Import Replica Schema)			●	●
非承認メッセージの再エクスポート (Re-Export Unacknowledged Messages)			●	●
変更の同期 (Synchronize Changes)			●	●

### ジオリファレンス (幾何補正) <sup>7</sup>

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>ツール</b>				
画像の移動、反転、回転、表示範囲にフィット		●	●	●
コントロール ポイントを対話的に定義		●	●	●
残差と RMS 誤差を含んだコントロール ポイント情報を保存、読み込み		●	●	●
<b>変換方法</b>				
1 次、2 次、3 次多項式		●	●	●
アジャスト		●	●	●
スプライン		●	●	●
<b>空間参照情報の保存</b>				
新規データセットの作成 (レクティブアイ)		●	●	●
画像と空間参照情報を保存		●	●	●

<sup>7</sup> ArcSDE ワークスペースにラスタの空間参照を保存するには ArcEditor もしくは ArcInfo ライセンスレベルが必要です。

# データ管理と整合性チェック

データ管理	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>一般</b>				
ArcCatalog で GIS データおよび関連ファイルの管理		●	●	●
ArcMap のカタログ ウィンドウで GIS データおよび関連ファイルの管理		●	●	● *
パーソナル ジオデータベースでラスタ データセットとラスタ カタログを管理		●	●	●
シングルユーザ (パーソナル/ファイル) ジオデータベース フィーチャクラスの作成		●	●	●
シェープファイルの作成		●	●	●
ArcGIS Server の管理		●	●	●
オペレーション システムまたはデータベース認証を使用し、マルチユーザ ジオデータベースに接続		●	●	●
<b>GISデータの検索方法</b>				
ファイル名		●	●	●
ファイル タイプ		●	●	●
パス		●	●	● *
キーワード タグ		●	●	● *
<b>カバレッジ データの管理</b>				
Tic の追加/修正			●	●
座標系の設定			●	●
データ範囲の変更			●	●
カバレッジ リレーションシップ クラスの作成			●	●
新規カバレッジの作成			●	●
新規 INFO ファイルの作成			●	●
カバレッジ許容値の修正			●	●
<b>ジオデータベース管理</b>				
マルチユーザ ジオデータベースにベクタとラスタ データを作成、読み込み			●	●
カスタム オブジェクト/フィーチャを格納するテーブル/フィーチャクラスを作成			●	●
GIS データの RDBMS 統計情報を更新			●	●
<b>交換ファイルのインポート/エクスポート</b>				
XML			●	●
ZIP (上限ファイル サイズが 4GB の圧縮テキスト ファイル)			●	●
Z (ファイル サイズの制限が無い圧縮テキスト ファイル)			●	●

## 属性の整合性チェック

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>ジオプロセッシング ツール : サブタイプ</b>				
サブタイプの追加 (Add Subtype)		●	●	●
サブタイプの削除 (Remove Subtype)		●	●	●
デフォルト サブタイプの設定 (Set Default Subtype)		●	●	●
サブタイプ フィールドの設定 (Set Subtype Field)		●	●	●
<b>ジオプロセッシング ツール : ドメイン</b>				
ドメインにコード値を追加 (Add Coded Value to Domain)		●	●	●
フィールドへのドメインの割り当て (Assign Domain to Field)		●	●	●
ドメインの作成 (Create Domain)		●	●	●
ドメインからコード値を削除 (Delete Coded Value from Domain)		●	●	●
ドメインの削除 (Delete Domain)		●	●	●
ドメイン → テーブル (Domain to Table)		●	●	●
フィールドからドメインを削除 (Remove Domain from Field)		●	●	●
範囲ドメインの値を設定 (Set Value for Range Domain)		●	●	●
テーブル → ドメイン (Table to Domain)		●	●	●
<b>フィーチャ間のリレーションシップを作成、編集</b>				
1 対 1			●	●
1 対多			●	●
多対多			●	●
リレーションシップのカーディナリティールールを設定			●	●
リレーションシップの属性を格納			●	●
フィーチャクラスのアタッチメントの有効化 (マルチメディア サポート)			●	●
フィーチャクラスのアタッチメントの作成と編集			●	●
<b>ジオデータベース リレーションシップの振舞い</b>				
フィーチャを動かす際に、関連フィーチャも移動			●	●
1つのフィーチャを削除する際に、関連フィーチャも削除			●	●
<b>ジオプロセッシング ツール : リレーションシップ クラス</b>				
リレーションシップ クラスの作成 (Create Relationship Class)			●	●
テーブルからリレーションシップ クラスを作成 (Table to Relationship Class)			●	●

\*

\*

## トポロジ

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>マップの表示</b>				
トポロジのエラーと例外のサマリを表示		●	●	●
トポロジのフィーチャクラスとルールを表示		●	●	●

エラー、例外、ダーティ エリア（編集後に整合チェックが行なわれていない領域）をマップに表示		●	●	●
<b>編集</b>				
マップ内のレイヤから作成されたトポロジを構築、編集		● <sup>8</sup>	●	●
トポロジのエッジとノードを移動		● <sup>8</sup>	●	●
隣接または接続フィーチャを表示、選択		● <sup>8</sup>	●	●
フィーチャ間の共有エッジの形状変更		● <sup>8</sup>	●	●
共有エッジまたはノードの座標を変更		● <sup>8</sup>	●	●
エッジ上から任意の角度、距離、比率で共有エッジを切断		● <sup>8</sup>	●	●
エッジとノードを特定の位置へ移動		● <sup>8</sup>	●	●
現在の位置からのオフセットに基づいてエッジとノードを移動		● <sup>8</sup>	●	●
接続エッジをマージ		● <sup>8</sup>	●	●
共有エッジまたはノードが移動した際、どの隣接/接続フィーチャを移動するか指定		● <sup>8</sup>	●	●
ラインからポリゴン、または、ポリゴンからラインを作成			●	●
交点でラインを切断			●	●
特定のエリア、または、トポロジ全体の整合チェックを実行			●	●
任意のエリア、または、トポロジ全体で特定タイプのエラーを検索			●	●
拡大縮小、画面移動、フィーチャ選択でエラーを調査			●	●
<b>トポロジ エラー修正用ツール</b>				
フィーチャの削除			●	●
フィーチャの抽出			●	●
フィーチャの作成			●	●
フィーチャのマージ			●	●
フィーチャへスナップ			●	●
ラインの延長			●	●
ラインの切り詰め			●	●
ラインの分割			●	●
マルチパート フィーチャをシングルパートフィーチャに変換（エクスポート）			●	●
フィーチャの単純化			●	●
<b>ジオデータベース トポロジの管理</b>				
ジオデータベース トポロジの作成、管理			●	●
トポロジ作成時に、スナップする頂点の優先順位を指定			●	●
<b>ジオデータベース トポロジ ルールの設定</b>				
ポリゴンがポイントを含む			●	●

<sup>8</sup> マップベース トポロジ内のシンプル フィーチャのみに適応されます。

ポリゴンが1つのポイントを含む			●	●	*
ポリゴンが重複しない			●	●	
ポリゴンにギャップがない			●	●	
ポリゴンが他クラスのポリゴンと重複しない			●	●	
他クラスの1つのポリゴンに包含される			●	●	
ポリゴンが他クラスの1つまたは複数のポリゴンに包含される			●	●	
2つのフィーチャクラスのポリゴンが重複する			●	●	
ポリゴンの境界線が他クラスのライン上にある			●	●	
ポリゴンの境界線が他クラスのポリゴンの境界線上にある			●	●	
ラインが重複しない			●	●	
ラインが他クラスに包含される			●	●	
ラインが単一パートである			●	●	
ラインが同一ライン内で重複しない			●	●	
ラインが他クラスのラインと重複しない			●	●	
ラインがダングルを持たない			●	●	
ラインが類似ノードを持たない			●	●	
ラインが交差しない			●	●	
ラインが他クラスと交差しない			●	●	
ラインが同一ライン内で交差しない			●	●	
ラインの端点が他クラスのポイント上にある			●	●	
ラインが他クラスのポリゴンの境界線上にある			●	●	
ラインが交差しない、または、接しない			●	●	
ラインが他クラスのライン上にある			●	●	
ラインが他クラスのエリアに含まれる			●	●	*
ポイントが他レイヤと一致する			●	●	*
ポイントが他クラスのライン上にある			●	●	
ポイントが他レイヤと一致しない			●	●	*
ポイントが他クラスのエリアに含まれる			●	●	
ポイントが他クラスのラインの端点上にある			●	●	
ポイントが他クラスのポリゴンの境界線上にある			●	●	
<b>ジオプロセシング ツール</b>					
トポロジにフィーチャクラスを追加 (Add Feature Class to Topology)			●	●	
トポロジにルールを追加 (Add Rule to Topology)			●	●	
トポロジの作成 (Create Topology)			●	●	
トポロジからフィーチャクラスを削除 (Remove Feature Class from Topology)			●	●	
トポロジからルールを削除 (Remove Rule from Topology)			●	●	
クラスタ許容値の設定 (Set Cluster Tolerance)			●	●	

トポロジの整合チェック (Validate Topology)			●	●
---------------------------------	--	--	---	---

## ネットワーク

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>ユーティリティ ネットワーク解析</b>				
上流解析		●	●	●
下流解析		●	●	●
共有上流解析		●	●	●
接続解析		●	●	●
ループ解析		●	●	●
切断解析		●	●	●
パス解析		●	●	●
加重最短パス解析		●	●	●
上流パス解析		●	●	●
上流累積解析		●	●	●
ネットワーク上のポイントを分離		●	●	●
<b>データ管理</b>				
ユーティリティ ネットワークの作成、管理			●	●
フィーチャを切断することなく接続を維持する複雑なエッジ フィーチャを作成			●	●
<b>ジオメトリック ネットワーク接続ルール</b>				
エッジ - ジャンクション			●	●
エッジ - ジャンクションを経由したエッジ			●	●
<b>ジオメトリック ネットワーク編集</b>				
ネットワーク フィーチャの接続、切断			●	●
ネットワーク フィーチャを有効化、無効化			●	●
ネットワークのフロー方向を設定			●	●
ネットワーク内の接続を確認、修正、再構築			●	●
ネットワーク フィーチャのジオメトリを確認			●	●
ネットワーク構築エラーをレビュー、修正			●	●

\*

## リニア リファレンス (ルート)

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>表示</b>				
ルート上のダイナミックなセグメンテーション イベント(ポイント、線分、継続的)を検索、表示		●	●	●
<b>編集</b>				
対話的に M 座標値を修正		●	●	●
対話的に M 座標を削除		●	●	●

フィーチャの長さ、フィールド値、始点終点のメジャー値を指定することにより、選択ラインに対してルートを作成		●	●	●
ラインの他の部分のメジャー値に影響を与えずに、ラインの一部を編集		●	●	●
ルート上のポイントを使って、ルートを調節 (キャリブレート)		●	●	●
ラインの始点、終点メジャー値を使って、メジャー値を算出		●	●	●
メジャー値に合うようにデジタイズしたラインの方向を設定		●	●	●
ラインの長さに基づいてメジャー値を算出		●	●	●
ライン上の全メジャー値を削除		●	●	●
既存のメジャー値間を内挿して不明なメジャー値を算出		●	●	●
ラインの全メジャー値に値を追加		●	●	●
ラインの全メジャー値を係数で掛ける		●	●	●
特定のメジャー値の位置に頂点を追加		●	●	●
<b>ジオプロセッシング ツール</b>				
ルート イベント レイヤの作成 (Make Route Event Layer)		●	●	●
ルートの作成 (Create Routes)		●	●	●
ルート上のポイントを使って、全ルートメジャー値を調節 (Calibrate Routes)		●	●	●
ルート イベントのディゾルブ (Dissolve Route Events)		●	●	●
ルートに沿ってフィーチャを配置 (Locate Features along Routes)		●	●	●
ルート イベントのオーバーレイ (Overlay Route Events)		●	●	●
ルート イベントの変換 (Transform Route Events)		●	●	●

## メタデータ

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo	
<b>一般</b>					
データ ファイルのメタデータを自動または手動で生成		●	●	●	
メタデータのインポート/エクスポート		●	●	●	
メタデータを ISO 19139 へエクスポート		●	●	●	
メタデータ テンプレートの XML ファイルを作成		●	●	●	
<b>スタイル形式を使用したメタデータの管理</b>					
アイテムの説明		●	●	●	*
INSPIRE (Infrastructure for Spatial Information in Europe) メタデータ指針		●	●	●	*
ISO 19139 メタデータの実装仕様		●	●	●	*
ISO19139 2003 の北米プロファイル		●	●	●	*
<b>ジオプロセッシング</b>					
メタデータのエクスポート (Export Metadata )		●	●	●	*
メタデータのエクスポート (マルチプル) (Export Metadata Multiple)		●	●	●	*

メタデータのインポート (Import Metadata)		●	●	●	
変換してメタデータのインポート (Import Metadata with Conversion)		●	●	●	*
メタデータの公開 (Metadata Publisher)		●	●	●	
メタデータの同期 (Synchronize Metadata)		●	●	●	*
メタデータのアップグレード (Upgrade Metadata)		●	●	●	*
Esri メタデータ トランスレータ (Esri Metadata Translator)		●	●	●	
メタデータの整合チェック (Validate Metadata)		●	●	●	*
メタデータの整合チェック (マルチプル) (Validate Metadata Multiple)		●	●	●	*
USGS MP メタデータ トランスレータ (USGS MP Metadata Translator)		●	●	●	
XML スキーマの整合性チェック (XML Schema Validation)		●	●	●	*
XSLT 変換 (XSLT Transformation)		●	●	●	

## データ処理と解析

### カバレッジ ジオプロセシング ツール

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>アプリケーション フレームワーク</b>				
ArcInfo カバレッジ フォーマットの管理、解析環境を完全装備				●
<b>ArcInfoカバレッジの解析</b>				
クリップ (Clip)				●
選択 (Select)				●
スプリット (Split)				●
イレース (Erase)				●
アイデンティファイ (Identify)				●
インターセクト (Intersect)				●
ユニオン (Union)				●
アップデート (Update)				●
バッファ (Buffer)				●
最近接 (Near)				●
ポイント間距離 (Point Distance)				●
ポイント ノード (Point Node)				●
ティーセン ポリゴン (Thiessen)				●
<b>ArcInfoカバレッジの変換</b>				
カバレッジ → DLG (Export to DLG)				●

カバレッジ → Interchange ファイル (Export to Interchange File)				●
カバレッジ → S57 (Export to S57)				●
カバレッジ → SDTS (Export to SDTS)				●
カバレッジ → VPF (Export to VPF)				●
カバレッジ → ジェネレート ファイル (Ungenerate)				●
Advanced TIGER ファイル → カバレッジ (Advanced TIGER Conversion)				●
Basic TIGER ファイル → カバレッジ (Basic TIGER Conversion)				●
ジェネレート ファイル → カバレッジ (Generate)				●
DLG → カバレッジ (Import from DLG)				●
Interchange ファイル → カバレッジ (Import from Interchange File)				●
S57 → カバレッジ (Import from S57)				●
SDTS → カバレッジ (Import from SDTS)				●
VPF → カバレッジ (Import from VPF)				●
<b>ArcInfoカバレッジの集約</b>				
アペンド (Append)				●
<b>ArcInfoカバレッジのコンポジット フィーチャへの変換</b>				
ライン カバレッジ → リージョン (Line Coverage to Region)				●
ライン カバレッジ → ルート (Line Coverage to Route)				●
ポリゴン カバレッジ → リージョン (Polygon Coverage to Region)				●
リージョン → ポリゴン カバレッジ (Region to Polygon Coverage)				●
<b>ArcInfoカバレッジのジェネライズ</b>				
ポリゴンの集約 (Aggregate Polygons)				●
建物レイヤの単純化 (Simplify Building)				●
二条線から中心線を作成 (Collapse Dual Lines to Ceterlines)				●
ディゾルブ (Dissolve)				●
エリミネート (Eliminate)				●
コンフリクト検索 (Find Conflicts)				●
ラインまたはポリゴンの単純化 (Simplify Line or Polygon)				●
<b>ArcInfoカバレッジのテーブルの管理</b>				
インデックスの削除 (Drop Index)				●
インデックスの追加 (Index Item)				●
アイテムの追加 (Add Item)				●
アイテムの削除 (Drop Item)				●
Info テーブルの結合 (Joint Information Tables)				●

XY 座標の追加 (Add X,Y Coordinates)				●
リノード (Renumber Nodes)				●
ID の更新 (Update IDs)				●
<b>ArcInfoカバレッジの投影変換</b>				
投影法の定義 (Define Projection)				●
投影変換 (Project)				●
トランスフォーム (Transform)				●
<b>ArcInfoカバレッジのトポロジ処理</b>				
ビルド (Build)				●
クリーン (Clean)				●
ラベルの作成 (Create Label)				●
VPF タイル トポロジ (VPF Tile Topology)				●
<b>一般</b>				
カバレッジの作成 (Create Coverage)				●
許容値の設定 (Tolerance)				●

## ジオプロセシング

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo	
<b>環境</b>					
視覚的に確認できるモデル構築環境を使って、ジオプロセシング ツールを関連付け (ModelBuilder)		●	●	●	
Python ウィンドウを使用したジオプロセシング ツールの実行		●	●	●	*
ArcCatalog もしくはカタログ ウィンドウ内でのツールボックス ツリーの使用		●	●	●	*
ArcToolbox ウィンドウの使用		●	●	●	*
ツール検索に検索ウィンドウを使用		●	●	●	*
ジオプロセシング ツール ビューに My Toolboxes を使用		●	●	●	*
モデル、スクリプトを使って、新規ジオプロセシング ツールを作成、共有		●	●	●	
ジオデータベース、または、ファイル システム内に、ツールを保存		●	●	●	
ツール レイヤを使用しマップ内のモデルから結果および中間データを表示		●	●	●	
1 回の操作中に、様々な入力データからツール、モデル、スクリプトを複数回実行 (バッチ処理)		●	●	●	
モデルの反復処置を使用したループモデルの構築		●	●	●	*
<b>対応スクリプト環境</b>					
C++		●	●	●	
JavaScript		●	●	●	
Perl		●	●	●	

Python 2.6		●	●	●	
VBA <sup>9</sup>		●	●	●	
VBScript		●	●	●	
Visual Studio .Net		●	●	●	
<b>一般データ管理</b>					
アペンド (Append)		●	●	●	
コピー (Copy)		●	●	●	
削除 (Delete)		●	●	●	
同一値を持つレコードの削除 (Delete Identical)		●	●	●	*
同一値を持つレコードの検出 (Find Identical)		●	●	●	*
マージ (Merge)		●	●	●	
ブランチのマージ (Merge Branch)		●	●	●	
名前の変更 (Rename)		●	●	●	
データの選択 (Select Data)		●	●	●	
値の計算 (Calculate Value)		●	●	●	
レコードの並べ替え (Sort)		●	●	●	
<b>データ比較</b>					
フィーチャ比較 (Feature Compare)		●	●	●	
ファイル比較 (File Compare)		●	●	●	
ラスタ比較 (Raster Compare)		●	●	●	
テーブル比較 (Table Compare)		●	●	●	
TIN 比較 (TIN Compare)		●	●	●	
<b>テーブル管理</b>					
行のコピー (Copy Rows)		●	●	●	
テーブルの作成 (Create Table)		●	●	●	
行の削除 (Delete Rows)		●	●	●	
行のカウント (Get Count)		●	●	●	
<b>編集</b>					
頂点の挿入 (Densify)			●	●	*
ポイントの削除 (Erase Point)			●	●	*
ラインの延長 (Extend Line)			●	●	*
ラインの方向を反転 (Flip Line)			●	●	*
頂点の間引き (Generalize)			●	●	*
スナップ (Snap)			●	●	*
ラインの切詰め (Trim Line)			●	●	*
統計情報の更新 (Analyze)			●	●	

<sup>9</sup> VBA をご利用になる場合は、ArcGIS Desktop とは別のインストールと認証が必要になります。

権限の変更 (Change Privileges)			●	●	*
ピボット テーブル (Pivot Table)				●	
<b>フィールド管理</b>					
フィールドの追加 (Add Field)		●	●	●	
フィールドへのデフォルト値の割り当て (Assign Default To Field)		●	●	●	
終了日付/時間の計算 (Calculate End Date)		●	●	●	
フィールド演算 (Calculate Field)		●	●	●	
時間フィールドの変換 (Convert Time Field)		●	●	●	*
フィールドの削除 (Delete Field)		●	●	●	
フィールドの転置 (Transpose Fields)		●	●	●	*
<b>フィーチャクラス管理</b>					
アノテーション フィーチャクラスのアペンド (Append Annotation Feature Classes)		●	●	●	
デフォルト XY 許容値の計算 (Calculate Default XY Tolerance)		●	●	●	
デフォルト空間グリッド インデックスの計算 (Calculate Default Spatial Grid Index)		●	●	●	
フィーチャクラスの作成 (Create Feature Classes)		●	●	●	
フィッシュネットの作成 (Create Fishnet)		●	●	●	
インテグレート (Integrate)		●	●	●	
アノテーション フィーチャクラスの更新 (Update Annotation Feature Classes)		●	●	●	
ランダム ポイントの作成 (Create Random Points)				● <sup>10</sup>	
<b>フィーチャ管理</b>					
XY 座標の追加 (Add X,Y Coordinates)		●	●	●	
Z 値の調整 (Adjust 3D Z)		●	●	●	
方位距離 → ライン (Bearing Distance to Line)		●	●	●	*
ジオメトリのチェック (Check Geometry)		●	●	●	
フィーチャのコピー (Copy Features)		●	●	●	
フィーチャの削除 (Delete Features)		●	●	●	
マルチパート → シングルパート (Multipart to Singlepart)		●	●	●	
ジオメトリの修正 (Repair Geometry)		●	●	●	
ポイント → ライン (Point to Line)		●	●	●	*
テーブル → 楕円 (Table to Ellipse)		●	●	●	
XY 座標 → ライン (XY to Line)		●	●	●	*
フィーチャの分割 (Dice)				●	*
ジオメトリの最小範囲 → ポリゴン (Minimum Bounding Geometry)				●	*

フィーチャのエンベロープ → ポリゴン (Feature Envelope to Polygon)				●	
フィーチャ → ライン (Feature to Line)				●	
フィーチャ → ポイント (Feature to Point)				●	
フィーチャ → ポリゴン (Feature to Polygon)				●	
フィーチャの頂点 → ポイント (Feature Vertices to Points)				●	
ポリゴン → ライン (Polygon to Line)				●	
ポイントでラインを分割 (Split Line at Point)				●	
フィーチャの頂点でラインをスプリット (Split Line at Vertices)				●	
ラインの接合 (Unsplit Line)				●	*
<b>ファイル ジオデータベース</b>					
ファイル ジオデータベースの圧縮 (Compress File Geodatabase Data)		●	●	●	
ファイル ジオデータベースの圧縮解除 (Uncompress File Geodatabase Data)		●	●	●	
<b>ジェネラライズ</b>					
ディゾルブ (Dissolve)		●	●	●	
ラインの単純化 (Simplify Line) <sup>10</sup>			●	●	
ラインのスムージング (Smooth Line) <sup>10</sup>			●	●	
ポリゴンのスムージング (Somooth Polygon) <sup>10</sup>			●	●	
ポリゴンの集約 (Aggregate Polygons) <sup>10</sup>				●	
ポイントの集約 (Aggregate Points) <sup>10</sup>				●	*
二条線から中心線を作成 <sup>10</sup> (Collapse Dual Lines To Centerline)				●	
エリミネート (Eliminate)				●	
ポリゴンの部分を削除 (Eliminate Polygon part)				●	*
道路のマージ (Marge Divided Roads) <sup>10</sup>				●	*
建物ポリゴンの単純化 (Simplify Building) <sup>10</sup>				●	
ポリゴンの単純化 (Simplify Polygon) <sup>10</sup>			●	●	
道路網の間引き (Thin Road Network) <sup>10</sup>				●	*
<b>投影変換と座標変換</b>					
座標表記の変換 (Convert Coodinatte Nation)		●	●	●	*
カスタム座標系変換の作成 (Create Custom Geographic Transformation)		●	●	●	
空間参照の作成 (Create Spatial Reference)		●	●	●	
投影法の定義 (Define Projection)		●	●	●	

<sup>10</sup> カートグラフィ ツールボックスからご使用になれます。

<b>ベクタ データの投影変換</b>				
投影変換のバッチ処理 (Batch Project)		●	●	●
投影変換 (Project)		●	●	●
<b>ラスタ管理</b>				
カラーマップの追加 (Add Colormap)		●	●	●
ピラミッド レイヤ構築のバッチ処理 (Batch Build Pyramids)		●	●	●
統計情報の計算のバッチ処理 (Batch Calculate Statistics)		●	●	●
ピラミッド構築 (Build Pyramids)		●	●	●
ピラミッドと統計情報の構築 (Build Pyramids and Statistics)		●	●	●
ラスタ属性テーブルの構築 (Build Raster Attribute Table)		●	●	●
統計情報の計算 (Calculate Statistics)		●	●	●
クリップ (Clip)		●	●	●
コンポジット バンド (Composite Bands)		●	●	●
ラスタのコピー (Copy Raster)		●	●	●
ラスタ カタログのアイテムのコピー (Copy Raster Catalog Items)		●	●	●
オルソ幾何補正ラスタ データセットの作成 (Create Ortho Corrected RasterDataset)		●	●	●
パンシャープン ラスタ データセットの作成 (Create Pan-sharpened RasterDataset)		●	●	●
ラスタ カタログの作成 (Create Raster Catalog)		●	●	●
ラスタ データセットの作成 (Create Raster Dataset)		●	●	●
カラーマップの削除 (Delete Color Map)		●	●	●
ラスタ属性テーブルの削除 (Delete Raster Attribute Table)		●	●	●
ラスタ カタログのアイテムの削除 (Delete Raster Catalog Items)		●	●	●
ラスタ カタログ パスのエクスポート (Export Raster Catalog Paths)		●	●	●
ラスタ ワールド ファイルのエクスポート (Export Raster World File)		●	●	●
サブセット ラスタの抽出 (Extract Subdataset)		●	●	●
ラスタ カタログ パスの修正 (Repair Raster Catalog Paths)		●	●	●
セル値の取得 (Get Cell Value)		●	●	●
ラスタ プロパティの取得 (Get Raster Properties)		●	●	●
モザイク (Mosaic)		●	●	●
新規ラスタにモザイク (Mosaic To New Raster)		●	●	●
ラスタ カタログ → ラスタ データセット (Raster Catalog to Raster Dataset)		●	●	●
ラスタ → DTED (Raster to DTED)		●	●	●
リサンプル (Resample)		●	●	●

ラスタの分割 (Split Raster)		●	●	●	
ワークスペース → ラスタ カタログ (Workspace To Raster Catalog)		●	●	●	
ワークスペース → ラスタ データセット (Workspace To Raster Dataset)		●	●	●	
ランダム ラスタの作成 (Create Random Raster)				● <sup>11</sup>	
<b>ラスタ モザイク</b>					
モザイク データセットへのラスタの追加 (Add Rasters to Mosaic Dataset)			●	●	*
境界線の構築 (Build Boundary)			●	●	*
フットプリントの構築 (Build Footprints)			●	●	*
概観図を構築 (Build Overviews)			●	●	*
シームラインの構築 (Build Seamlines)			●	●	*
セル サイズの範囲を計算 (Calculate Cell Size Ranges)			●	●	*
モザイク データセットのカラー調整 (Color Balance Mosaic Dataset)			●	●	*
ダーティ エリアの計算 (Compute Dirty Area)			●	●	*
モザイク データセットの作成 (Create Mosaic Dataset)			●	●	*
モザイク データセットを作成 (既存カタログから) (Create Referenced Mosaic Dataset)			●	●	*
モザイク データセットの NoData の定義 (Define Mosaic Dataset NoData)			●	●	*
概観図の定義 (Define Overviews)			●	●	*
除外エリアの作成 (Generate Exclude Area)			●	●	*
モザイク データセット ジオメトリのインポート (Import Mosaic Dataset Geometry)			●	●	*
モザイク データセットからラスタを削除 (Remove Rasters from Mosaic Dataset)			●	●	*
モザイク データセットへのラスタの追加 (Synchronize Mosaic Dataset)			●	●	*
<b>ラスタ変換</b>					
ASCII →ラスタ (ASCII to Raster)		●	●	●	
DEM → ラスタ (DEM to Raster)		●	●	●	
フィーチャ → ラスタ (Feature to Raster)		●	●	●	
浮動小数点ファイル (.flt) → ラスタ (Float to Raster)		●	●	●	
ラスタ→ASCII (Raster to ASCII)		●	●	●	
ラスタ → 浮動小数点ファイル (.flt) (Raster to Float)		●	●	●	
ラスタ → 他のフォーマットのラスタ (マルチプル) (Raster To Other Format (Multiple))		●	●	●	
ラスタ → ポイント (Raster to Point)		●	●	●	
ラスタ → ポリゴン (Raster to Polygon)		●	●	●	

ラスタ → ポリライン (Raster to Polyline)		●	●	●	
ラスタ → ビデオ (Raster to Video)		●	●	●	*
ポイント → ラスタ (Point to Raster) <sup>11</sup>		●	●	●	
ポリゴン → ラスタ (Polygon to Raster) <sup>11</sup>		●	●	●	
ポリライン → ラスタ (Polylines to Raster) <sup>11</sup>		●	●	●	
<b>ラスタ投影変換と座標変換</b>					
反転 (Flip)		●	●	●	
ミラー (Mirror)		●	●	●	
ラスタの投影変換 (Project Raster)		●	●	●	
セル サイズ変更 (Rescale)		●	●	●	
回転 (Rotate)		●	●	●	
シフト (Shift)		●	●	●	
幾何補正 (Warp)		●	●	●	
<b>変換</b>					
フィーチャクラス → フィーチャクラス (Feature Class to Feature Class)		●	●	●	
フィーチャクラス → ジオデータベース (マルチプル) (Feature Class to Geodatabase (Multiple))		●	●	●	
フィーチャクラス → シェープファイル (Feature Class to Shapefile (Multiple))		●	●	●	
CAD アノテーションからインポート (Import CAD Annotation to Geodatabase)		●	●	●	
カバレッジ アノテーションからインポート (Import Coverage Annotation to Geodatabase)		●	●	●	
CAD からインポート (Import from CAD to Geodatabase)		●	●	●	
ラスタ → ジオデータベース (マルチプル) (Raster to Geodatabase (Multiple))		●	●	●	
テーブル → dBASE (マルチプル) (Table to dBASE (Multiple))		●	●	●	
テーブル → ジオデータベース (マルチプル) (Table to Geodatabase (Multiple))		●	●	●	
テーブル → テーブル (Table to Table)		●	●	●	
CAD フィールドの追加 (Add CAD Fields)		●	●	●	
CAD XData の作成 (Create CAD XData)		●	●	●	
CAD へエクスポート (Export to CAD)		●	●	●	
E00 からインポート (Import from E00)		●	●	●	*
KML → レイヤ (KML to Layer)		●	●	●	*
レイヤ → KML (Layer to KML)		●	●	●	

<sup>11</sup> これらの機能を利用するには、ArcGIS Spatial Analyst または ArcGIS 3D Analyst エクステンションのインストールが必要です。ここで記載されている機能に限り同エクステンションのライセンスは必要ありません。

マップ → KML (Map to KML)		●	●	●	
マルチパッチ → Collada (Multipatch to Collaborative Design Activity (COLLADA))		●	●	●	*
WFS → フィーチャクラス (WFS to Feature Class)			●	●	*
フィーチャクラス → カバレッジ (Feature Class to Coverage)				●	
<b>レイヤとテーブル ビュー</b>					
レイヤのシンボル情報を適用 (Apply Symbology from Layer)		●	●	●	
フィーチャ レイヤの作成 (Make Feature Layer)		●	●	●	
Image Server レイヤの作成 (Make Image Server Layer)		●	●	●	*
モザイク レイヤの作成 (Make Mosaic Layer)		●	●	●	*
クエリ テーブルの作成 (Make Query Table)		●	●	●	
ラスタ カタログ レイヤの作成 (Make Raster Catalog Layer)		●	●	●	
ラスタ レイヤの作成 (Make Raster Layer)		●	●	●	
テーブル ビューの作成 (Make Table View)		●	●	●	
WCS レイヤの作成 (Make WCS Layer)		●	●	●	
XY イベント レイヤの作成 (Make X,Y Event Layer)		●	●	●	
レイヤ ファイルの保存 (Save to Layer File)		●	●	●	
属性検索 (Select Layer by Attribute)		●	●	●	
空間検索 (Select Layer by Location)		●	●	●	
<b>パッケージ</b>					
マップ コンテンツの統合 (Consolidate Layer)		●	●	●	*
レイヤ コンテンツの統合 (Consolidate Map)		●	●	●	*
パッケージの抽出 (Extract Package)		●	●	●	*
レイヤのパッケージ化 (Package Layer)		●	●	●	*
マップのパッケージ化 (Package Map)		●	●	●	*
パッケージの共有 (Share Package)		●	●	●	*
<b>パーセル ファブリック</b>					
パーセル ファブリック レイヤの作成 (Make Parcel Fabric Layer)		●	●	●	*
パーセル ファブリック テーブル ビューの作成 (Make Parcel Fabric Table View)		●	●	●	*
トポロジをパーセル ファブリックへ読み込み (Load a Topology to a Parcel Fabric)			●	●	*
パーセル ファブリックのアップグレード (Upgrade parcel Fabric)			●	●	*
<b>解析</b>					
バッファ (Buffer)		●	●	●	
クリップ (Clip)		●	●	●	
インターセクト (Intersect)		●	●	●	
多重リング バッファ (Multiple Ring Buffer)		●	●	●	

選択 (Select)		●	●	●
空間結合 (Spatial Join)		●	●	●
要約統計量 (Summary Statistics)		●	●	●
テーブルから選択 (Table Select)		●	●	●
ユニオン (Union)		●	●	●
ティーセン ポリゴンの作成 (Create Thiessen Polygons)				●
イレース (Erase)				●
頻度 (Frequency)				●
アイデンティティ (Identity)				●
最近接 (Near)				●
最近接情報テーブルの作成 (Generate Near Table)				●
ポイント間距離 (Point Distance)				●
スプリット (Split)				●
シンメトリカル ディファレンス (Symmetrical Difference)				●
アップデート (Update)				●
<b>空間統計ツール – パターン分析</b>				
平均最近隣距離分析 (Average Nearest Neighbor)		●	●	●
高/低クラスタ分析 (High/Low Clustering (Getis-Ord General G))		●	●	●
Ripley の K 関数法 (Ripley's K Function)		●	●	●
空間的自己相関分析 (Spatial Autocorrelation (Moran's I))		●	●	●
<b>空間統計ツール – クラスタ分析のマッピング</b>				
クラスタ / 外れ値分析 (Cluster and Outlier Analysis (Anselin Local Morans I))		●	●	●
ホット スポット分析 (Hot Spot Analysis (Getis-Ord Gi*))		●	●	●
<b>空間統計ツール – 地理的分布特性の算出</b>				
中心フィーチャの算出 (Central Feature)		●	●	●
分布指向性分析 (Directional Distribution (Standard Deviational Ellipse))		●	●	●
リニア平均方向の算出 (Linear Directional Mean)		●	●	●
地理的中心の算出 (Mean Center)		●	●	●
地理的中間地点の算出 (Median Center)		●	●	●
標準距離の算出 (Standard Distance)		●	●	●
<b>空間統計ツール – 空間関係のモデリング</b>				
空間ウェイト マトリックスの作成 (Generate Spatial Weight Matrix)		●	●	●

\*

地理空間加重回帰分析 (Geographically weighted Regression)				● <sup>12</sup>
最小二乗法 (Ordinary least Squares Regression)		●	●	●
<b>空間統計ツール – レンダリング</b>				
Z スコア レンダリング処理を含むクラスター/外れ値分析 (Cluster/Outlier Analysis with Rendering)		●	●	●
レンダリング処理を含むイベントの集計 (Collect Events with Rendering)		●	●	●
カウントのレンダリング処理 (Count Rendering)		●	●	●
レンダリング処理を含むホットスポット分析 (Hot Spot Analysis with Rendering)		●	●	●
Z スコア レンダリング処理 (Z Score Rendering)		●	●	●
<b>空間統計ツール – ユーティリティ</b>				
面積の計算 (Calculate Areas)		●	●	●
近接フィーチャへの距離を計算 (Calculate Distance Band from Neighbor Count)		●	●	●
イベントの集計 (Collect Events)		●	●	●
空間ウェイト マトリックス → テーブル (Convert Spatial Weights Matrix to Table)		●	●	●
フィーチャ属性を ASCII にエクスポート (Export Feature Attribute to ASCII)		●	●	●
<b>マルチディメンション ツール</b>				
フィーチャ → NetCDF (Feature to NetCDF)		●	●	●
NetCDF フィーチャ レイヤの作成 (Make NetCDF Feature Layer)		●	●	●
NetCDF ラスタ レイヤの作成 (Make NetCDF Raster Layer)		●	●	●
NetCDF テーブル ビューの作成 (Make NetCDF Table View)		●	●	●
ラスタ → NetCDF (Raster to NetCDF)		●	●	●
ディメンションで選択 (Select by Dimension)		●	●	●
テーブル → NetCDF (Table to NetCDF)		●	●	●
<b>ワークスペース管理</b>				
フィーチャ データセットの作成 (Create Feature Dataset)		●	●	●
ファイル ジオデータベースの作成 (Create File Geodatabase)		●	●	●
フォルダの作成 (Create Folder)		●	●	●
パーソナル ジオデータベースの作成 (Create Personal Geodatabase)		●	●	●
ArcInfo ワークスペースの作成 (Create ArcInfo Workspace)				●
<b>データベース管理</b>				
ワークスペース キャッシュの削除 (Clear Workspace Cache)		●	●	●

<sup>12</sup> ArcGIS Spatial Analyst または Geostatistical Analyst エクステンションをお持ちの ArcView、ArcEditor ユーザー様もご利用いただけます。

データベースの最適化 (Compact)		●	●	●	
ジオデータベースのアップグレード (Upgrade Geodatabase)		●	●	●	*
空間参照の更新 (Upgrade Spatial Reference)		●	●	●	
権限の変更 (Change Privileges)			●	●	*
データベースの圧縮 (Compress)			●	●	
ジオデータベースに登録 (Register with Geodatabase)			●	●	
データ格納タイプの移行 (Migrate Storage)			●	●	
<b>属性の結合</b>					
属性の結合 (Add Join)		●	●	●	
属性の結合の解除 (Remove Join)		●	●	●	
<b>データのインデックス</b>					
属性インデックスの追加 (Add Attribute Index)		●	●	●	
空間インデックスの追加 (Add Spatial Index)		●	●	●	
属性インデックスの削除 (Remove Attribute Index)		●	●	●	
空間インデックスの削除 (Remove Spatial Index)		●	●	●	
<b>ArcGIS Server 管理</b>					
マップ サービス キャッシュの削除 (Delete Map Server Cache)		●	●	●	
グローブ サービス キャッシュの作成 (Generate Globe Server Cache)		●	●	●	
マップ サービス キャッシュの作成 (Generate Map Server Cache)		●	●	●	
マップ サービス キャッシュ タイル スキーマの作成 (Generate Map Server Cache Tiling Scheme)		●	●	●	
マップ サービス キャッシュの更新 (Update Map Server Cache)		●	●	●	

## 国内データ対応

### インポート可能データ

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo
<b>数値地図データ変換ツール<sup>13</sup></b>				
数値地図 10000 (総合)		●	●	●
数値地図 500 万 (総合)		●	●	●
数値地図 2500 (空間データ基盤) - 独自形式 ・ 日本測地系版 - - 独自形式 ・ 世界測地系版 -		●	●	●

<sup>13</sup> ArcGIS Desktop に標準搭載の「国内データ変換ツール」に含まれています。

数値地図 2500 (空間データ基盤) 地理情報標準対応		●	●	●
数値地図 25000 (空間データ基盤) 従来版		●	●	●
数値地図 25000 (空間データ基盤) JPGIS 準拠版		●	●	●
数値地図 25000 (行政界・海岸線)		●	●	●
数値地図 25000 (行政界・海岸線) 地理情報標準対応		●	●	●
数値地図 25000 (地名・公共施設)		●	●	●
数値地図 200000 (行政界・海岸線)		●	●	●
細密数値情報 (10m メッシュ土地利用)		●	●	●
国土数値情報 1/10 細分区画土地利用データ		●	●	●
数値地図 25000 (土地条件) 地理情報標準対応		●	●	●
数値地図 5000 (土地利用) 地理情報標準対応		●	●	●
数値地図 50m メッシュ (標高)		●	●	●
数値地図 250m メッシュ (標高)		●	●	●
数値地図 1km メッシュ (標高・平均標高)		●	●	●
数値地図 2m メッシュ (標高)		●	●	●
数値地図 5m メッシュ (標高)		●	●	●
数値地図 10m メッシュ (火山標高)		●	●	●
<b>デジタル マッピング データ (DM) 変換ツール<sup>13</sup></b>				
国土交通省規程フォーマット - デジタル マッピング データ (DM および拡張 DM)		●	●	●
<b>JMCマップ (FDマップ) 変換ツール<sup>13</sup></b>				
JMC マップ (日本)		●	●	●
<b>SXF対応ツール<sup>13</sup></b>				
SXF 2.0 <sup>14</sup>		●	●	●
SXF 3.0 <sup>15</sup>		●	●	●
<b>地籍フォーマット 2000 対応ツール<sup>13</sup></b>				
地籍フォーマット 2000		●	●	●
<b>G-XML対応ツール<sup>13</sup></b>				
G-XML 2.0		●	●	●
<b>SIMAインポート ツール<sup>13</sup></b>				
SIMA 形式のデータ		●	●	●
<b>Zmap-TOWN II 対応ツール</b>				
Zmap-TOWN II		●	●	●
<b>Zmap-AREA II 対応ツール</b>				
Zmap-AREA II		●	●	●

<sup>14</sup> SXF2.0 対応ツールでは SFC 形式のみに対応しています。

<sup>15</sup> SXF3.0 対応ツールでは SFC および P21 形式の両方をサポートしています。

河川地図データ対応ツール				
河川基盤地図		●	●	●
河川環境情報地図 (平成 17 年度版)		●	●	●
ダム環境情報地図 (平成 17 年度版)		●	●	●
河川環境情報地図 (平成 18 年度版)		●	●	●
ダム環境情報地図 (平成 18 年度版)		●	●	●
基盤地図情報変換ツール <sup>16</sup>				
基盤地図情報 2500		●	●	●
基盤地図情報 25000		●	●	●
基盤地図情報 (測定の基準点)		●	●	●
基盤地図情報 5m メッシュ (標高)		●	●	●
基盤地図情報 10m メッシュ (標高)		●	●	●
基盤地図情報 50m メッシュ (標高)		●	●	●
基盤地図情報 250m メッシュ (標高)		●	●	●

## エクスポート可能データ

	ArcReader	ArcView	ArcEditor	ArcInfo	
SXF対応ツール					
SXF 3.0		●	●	●	
地籍フォーマット 2000 対応ツール					
地籍フォーマット 2000		●	●	●	
G-XML対応ツール					
G-XML 2.0		●	●	●	
SIMAエクスポート ツール					
SIMA 形式のデータ		●	●	●	
河川地図データ対応ツール					
河川基盤地図		●	●	●	
河川環境情報地図 (平成 17 年度版)		●	●	●	
ダム環境情報地図 (平成 17 年度版)		●	●	●	
河川環境情報地図 (平成 18 年度版)		●	●	●	
ダム環境情報地図 (平成 18 年度版)		●	●	●	
基盤地図情報変換ツール <sup>16</sup>					
基盤地図情報 2500		●	●	●	*
基盤地図情報 25000		●	●	●	*
基盤地図情報 (測定の基準点)		●	●	●	*

<sup>16</sup> JPGIS 2.0 形式に対応しています。JPGIS 2.0 (GML) 形式には対応していません。

「ArcGIS Desktop 10 機能比較表 第 3 版」 (非売品)

2011 年 7 月 13 日

ESRI ジャパン株式会社 作成

<http://www.esrij.com/>

本書は米国 Esri 社が作成した「ArcGIS Desktop 10 Functionality Matrix」を ESRI ジャパン株式会社 (日本 東京) が翻訳したドキュメントです。

本文中に記載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。「ArcGIS」および「ArcGIS ロゴ」は、米国 Esri 社の登録商標です。

本書の一部または全部を無断で転用または複製することを禁じます。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書に記載されている内容に万が一誤りがあった場合にも、本書を運用した結果の影響についてはいかなる責任も負いかねます。